各種社會問題之研究

滿洲之社會



甲子貳月號

第貳卷第六號

一資本金　壹億圓

一積立金　七千參百萬圓

本店　横濱

支店　東京、大阪、神戸、名古屋、長崎、下關、倫敦、漢堡、里昂、紐育、桑港、羅府、布哇、シドニー、新嘉坡、カルカッタ、シヤトル、スラバヤ、ブエノスアイルス、バタビヤ、リオデジヤネイロ、西貢、孟買、蘭貢、馬尼剌、香港、上海、漢口、青島、濟南、天津、北京

出張所　牛莊（營口）、奉天、開原、長春、哈爾賓、浦鹽斯德

大連市大山通一番地

横濱正金銀行大連支店

電話
- 代表番號三一六二番
- 海關取扱所四七六二番
- 宿直專用六〇一五番

滿洲之社會―第貳卷第六號（大正十三年二月發行）



慶典盛儀と社會事業

東宮攝政宮裕仁親王殿下と良子女王殿下との御婚儀當日、卽ち一月二十六日を以て、此の御盛典を奉祝せんが爲め、各地に種々の記念事業が行はれたるは喜ぶべき事なり。殊に社會事業の不振なる關東州に於て、旅順と大連とに新たに少年團が成立し、支障累出のために行き惱みたる大連保健浴場も此の慶祝日に滯りなく開場式を擧行し、猶ほ多年の問題たりし大連西公園の改造がその端を啓きしは、最も喜ぶべき事なり、吾人は深く之を慶賀す。

少年團卽ちボーイ・スカウトの事に關しては本號の誌上にその意見と狀況とを掲げ置きたれば、就いて讀まれたし。社會事業とは異なるも、大連市その他に記念植樹の行はれしも好きことにて、此の機會に、單なる記念植樹のみに止めず、進んで植林思想を一般に普及せしめんが爲め、滿洲にも栽植日卽ちアルボルデーを設くる事にしたし。併合後の朝鮮にては神武天皇祭當日を以て栽植日と定めたり。滿洲にもその必要なしと言ふ可らざるなり。

御慶典當日には全國の優秀なる社會事業に御下賜金ありたり。滿洲社會事業研究會にては、昨年中本件につき會長、副會長共に相當に骨を折りたる事なれば、滿洲の社會事業に對しても此の恩典ありたることゝ思ふ。商工業の發達をのみ圖るが滿洲開發の目的にあらず、意義ある文化事業、殊に現代の必須事業たる社會事業の健全なる發達を圖る事も、また滿洲開發の一目的たらざる可らず。事業以外に社會政策と社會問題の研究も必要と知れよ。

思想の惡化とは何ぞ

我國の今日は總べてを通じて混亂の時代である。政治界然り、經濟界然り、敎育界然り、思想界も亦然りである。政府當局は思想善導といふことを表榜し、危激思想を懷いたものを取締ると云つて居るが、思想がその云爲行動に現はれない場合、認定推量を以て猥りに取締り得べきもので無いから、之れは大なる問題である。下手をすれば漲り來れる水勢を堰き止めやうとして却つて水勢を激動せしめるやうな事になるだらう。第一思想界ばかり混亂して居ると思ふのが間違ひであつて、前言の通り、混亂して居るのは思想界のみでなく、總べてが混亂して居ると云ふことを深く注意せねばならぬ。吾々は此の混亂に失望しない。晴天の前に雲飛び風吹き雨降るが如く、混亂動搖はやがて纏めと整ひの本體に立返るべき前提であつて、此の混亂時代を經過した後、初めて更始一新の晴々とした天氣模樣が出現し來るであらうと信じて居る。思想善導を云々して思想界の取締にのみ腐心沒頭するのは土臺間違つた事なのである。思想善導の必要がないと申すのではない、善導は如何なる方

面にも必要で、思想善導の要あることは固より論を待たないが、權力や法律を以てのみする取締の寧ろ有害なるを思ふと同時に、善導せねばならない樣になつた思想の惡化と云ふことに就いて深く考へたいのである。そも〳〵思想の惡化とは何ぞ。或者はこれを社會主義、共産主義、無政府主義などの思想學説に胚胎すると云ひ、或者は個人主義、自由主義、利己主義とそれに伴なふ權利思想の急激なる發達に職由すると云ひ、又或者は舊道德、舊倫理、舊習慣と凡ゆる傳統の衰滅に際して之れに代るべき新道德、新倫理、新習慣と權威ある生活樣式の起らない爲めであると云ひ殆んど歸結するところを知り難い有樣だが、吾々は寧ろこの混亂狀態と政治、經濟社會の總べてに渉れる各種の混亂が思想惡化の主因であると思つて居る。我が思想界が外來思想に呑まれ、その模倣と請賣に忙殺され、消化と咀嚼の足らぬことは明白なる事實であつて、或時は超人主義のニイチエに赴き、或時はゼームスの理智主義、ベルグソンの創造進化論、オイケンの新理想主義、タゴールの新神秘主義、ロマンローランの新英雄主義に走り、また或時はカントの觀念主義哲學からヘーゲルの唯物主義哲學に乘替へ、ショツペンハウエルの印度思想を加味した厭世的哲學にも色眼を使ひ、更らにダウヰンの進化論に心醉し、トルストイの人道主義に共鳴しエレンカイの博愛主義にも謳歌し、最近にはマルクス竝びにエンゲルスの社會主義共産主義的思想、バクニーンやクロポトキンの無政府主義的思想に讃仰の聲を放つ

ものがあると云ふ有様で、その自主力のない請入れ一方の慌だしい態度には、全く愛想の盡きる話であるけれど、淺深厚薄こそあれ、西歐文化の攝取に汲々乎たる現代の我國には、啻に思想界のみならず、他の總べての方面にも斯うした模倣、直譯無咀嚼、無消化の作用が行はれて居るのである。理智のみで經驗の乏しい青年、机上の空想に耽りがちの學徒、流行品の尻を追廻はすハイカラ然たる新人、それ等に斯うした鵜の眞似をする鴉やイソップ物語りにある牛を眞似る蛙が多いやうだが實は一般を擧げて意識的に又は無意識的に歐米の文化にのみ眼を奪はるゝものが多いのである。それは必ずしも惡い事ではない。我國は傳來の印度思想と漢土思想とに固有の神代思想を加へて一種の文化を創造し、今日は主として歐米の文化攝取に努め、他の長を採りて我が短を補はんとして居る時代で、まだ大成圓熟の期に達しない爲め、何等のオリジナリチーもなく、隨つて思想界を初め總べての方面が亂麻の如く紊れて居るのであつて、左のみ深憂すべき事でもない。此の混亂時代を經過して初めて纏めと整ひの時代が到來するのである。此間に多少誤まつた危激な思想の持主が現はれたとて眼を圓くして仰山な駭き方をするにも及ぶまいと思ふ。且夫れ思想の惡化なるものは、外來思想の鵜呑みのみが所因ではなく、現代の我國の何人もが餘りに個人主義、自由主義に走り、一轉して利己主義となり、そして西歐より輸入した機械的物質文明に陶醉して居るのも思想惡化の一因で、或はその方が

一般人の思想を甚だしく悪化したかも知れない。我國の政治界が大いに亂れたのは職業政治家が殖え、野心家や、策士や、功利の徒が多くなつたからで、經濟界の紊亂も、眞の事業家が少なく、虛業家や利權屋が我は顔に跋扈跳梁して憚らぬからである。ホイスピーの言つた目的家とか人格者とか云ふ部類のものは影を潜め、悪貨多ければ良貨を驅逐するといふ經濟上のグレシヤムの方則が政治界にも經濟界にも惜に適用されて居る。此點に於て淺薄なデモクラシーは稽に物であると思ふ。政治家が平氣で嘘を言ひ、欺滿籠蓋を事とし、國民を瞞着し、隨つてその政治が眞劍味を失ひ、公明正大を缺き、大義名分を沒却するに至れば、國民思想は勢ひ悪化せざるを得ないのである。國民の心を心としない權勢慾一方の打算的政治家や、その政治家によつて組織せらるゝ政府によりて、國民思想の善導は能きない。羊頭を掲げて狗肉を售るやうな事をすれば益々思想界を悪化する許りである。元來人は四圍の氣圍氣と社會の環境に支配され易いもので、氣圍氣が濁れば共に濁り、環境が暗ければ共に暗く、その氣圍氣を清め環境を明るくする作用が行はれても、それが不十分であり、又その施設が不滿足であれば、世道の頹廢と共に人心荒廢し、綱紀もまた弛廢する。眞暗な洞窟の流れに棲息する魚類は眼があつても盲目同樣で眼の用を爲さない、進化論ではこれを適所適應の作用と云つて居るが、環境の力はそれ程に强烈なものである。經濟界に利權屋や虛業家が跋扈し、利己主義を極度に發揮し

生產經濟を重んじて分配經濟を輕んじ、資本主義に傾き過ぎて勞働問題とその對策を怠り、特權階級、上流階級の言說にのみ聽いて庶民階級、中流級階の要求を容れず、その意志を尊重せぬ樣なことをすれば、民衆の思想を惡化するのは必然の歸趨であつて、斯かる氣圍氣と環境より成る社會に穩健中正な思想の芽ぐむ道理はない吾々が常に社會政策の必要と社會施設の急務を絕叫し已まないのは、それが社會の環境を明るくし、その氣圍氣を淸め、各人の生活を安定し、恆產あり恒心あるものを多くし、延いて思想界を善導するからである。現代の我國の如く政治經濟、社會の總べてに涉りて紛糾混亂を極めつゝある時代に方りては、新舊思想の衝突は免れ難い當然の勢ひで、寧ろこれを摶噬させた方がいゝが、同時に社會政策と社會施設の徹底的實行に銳意せねばならぬ。社會主義、共產主義、無政府主義的思想とその學說のためにのみ我が國民の思想が惡化したのではない、歐西の機械的物質文明を輸入し、その資本主義を受け入れ、彼の長を採ると共に彼の短をも容れ個人主義、自由主義、權利主義に走り、利己主義に墮し、斯くして現在の如き混亂時代を出現したのであるから、先づこれを整へ纒めることが必要である。皇道則ち民衆道で、我が皇室と國民とは血族的に、道德的に、情意的に堅く結ばるべきものであることを思ふならば、政治にも、經濟にも、皇道に基づいた倫理的施設を爲し萬事に亘つて切に民意尊重と民意暢達とに努むべきである。(芙峰)

現代の青年

◉現代青年の總べてが开うであるとは言はないが現代青年の多くは權利思想に富んでその割合に義務觀念が薄弱の樣である◉從來の舊道德は君臣又は主從といふ關係の下に臣僕從者に絕對的服從を强い而もその封建君主や主人やは自分勝手の振舞をして寧ろ從屬者を奴隷視した◉七去三從とかいふ儒佛的舊思想の女大學では婦人を蔑視し婦人に絕對的服從を强い家の系圖にも女の名前を記さぬと云ふ極端な事をして而もその主人は我儘勝手の仕放題であつた◉斯んな舊思想や惡い傳統や習慣や舊道德が智識の進步した現代人に容れられないのは當然でソコに近代思想を呼吸した青年の多くが服從といふ事に疑念を抱き同時に義務の觀念が薄くなつたのは必ずしも理由なきに非ずだ◉併し義務と服從とは同質のもので無い苟くも權利を主張しやうと思ふなら先づ義務心を養ひ個人的にも社會的にも義務の履行に努めねばならぬ◉義務の自主的觀念から起る服從は美德であり又それは社會構成の一大要素である◉軍隊で絕對服從をその入營者に求めるのは畢竟國民としての義務を遂行せしめんが爲めで封建時代の君主がその從屬者に强いた絕對服從とは質が違ふ◉この邊の道理が解らないで最近入營した勞働者側の某青年が絕對服從の誓ひに服從しなかつたのは飛んでもない心得違ひだ◉尤も從來の軍隊には封建的なところが有つて餘りに兵卒を苛め散らし絕對服從の名の下に無理な服從を强いた事もあるが近來の軍隊は大分民衆化し社會化したと云ふ事だから眞逆そんな時代錯誤はあるまいと思ふ◉軍隊に在りて絕對服從を誓ふことは皇室竝びに國家に對する國民當然の責務である◉それに服從しない樣な奴は亂人賊子だ國民の義務を辨ねない權利思想の一方に凝り固まつた危險思想家である◉我國にも時折斯んな不心得者が出るので皇國の歷史に汚點を印するやうな事件も起るのだ◉權利を主張しやうと思ふなら先づ義務を忠實に果たせ義務を忠實に果たせば權利は自ら伸張されるものである◉それから現代青年の內には公私の區別を混淆し公的職務を怠り却つて私的關係に重きを措く者もあるが之も困つた事である◉個人主義的思想と自由思想とにのみ憧憬して利己的となり放縱となり我儘となる者が青年に多いのも嘆ずべき事だ。

電光石火

◆原內閣時代に內地延長主義と云ふことが唱へられ臺灣の當局者などは共鳴を連發したものだ◆臺灣も朝鮮も植民地では無い內地の延長であると云ふのが內地延長主義の言分である◆そして年來問題となつた法律六三號後の法律三一號卽ち總督に法律に代るべき命令(律令)を發するの權を與へた特殊立法權を憲法違反といふ廉で葬り◆續いて法制の統一を圖り內地の民法や戸籍法を臺灣に延長したのは可いとして而も其の民法には相續篇に除外例を設けた◆新附民族たる臺灣人の戸籍相續は母國人たる內地人と根抵を異にして居るので除外例を設ける事になつたのだ◆植民地に對し或る程度まで法制の統一を圖るは必要な事であるが佛國が交趾支那に施して失敗したやうな同化的劃一主義は實際上行はれるもので無い◆此の失敗に懲りて佛國は其後チユニスに其の土情民度と風俗習慣とに適合した植民政策を行ふことに爲つた◆二審制度であつた關東州の高等法院內に上告部が設けられ日本內地同樣その裁判制度が三審になつたのは喜ぶべきことで此種のことは成るべく日本流にすべしだが何も彼も日本流には出來ない◆最も好くないのは內地延長主義に藉口して日本內地の政黨政治が植民地に延長し黨弊を輸入し職業政治家が利權漁りに出張つて來ることである◆關東州の阿片事件は何から起つたか滿鐵事件のそも〱の原因は何であるか識者は胸に手を當てゝ靜かに考へて欲しい◆日本の政治はまだ本當の議會政治、政黨政治に成つてゐない原內閣が稍それに庶幾かつた迄だ隨つて超然內閣や變體內閣や中間內閣やが頻現する◆憲法の條章を狹義に解釋し三權分立の原則を楯に取れば政黨內閣なるものは多少疑問となるが併し日本も今後は議會政治、政黨政治に步を進むる事であらう◆政治は勢ひだ純理を以て律し難い所がある議會政治、政黨政治を政治の最善なものとは云へ無いが勢ひ日本もさうならねば止まぬであらう◆藩閥政府や官僚內閣や貴族院の研究會を土臺にして變挺な內閣に較ぶれば議會政治、政黨政治の方が比較的民意の暢達と民權の伸暢とに都合がいゝ◆日本の民衆も敎育の普及と共に段々目醒めて來た民衆の意志を無視した寡頭專制政治が何時迄も行はれる道理はない◆憲法論を振廻して政黨內閣を非認するもの

は何ゆゑ憲法にも何にもない元老の内閣製造に向つて一矢を放たぬのであるか◆併し日本の既成政黨は政黨の本質を備ゑて居ない主義政見の區別が鮮明でない朋黨に毛の生ゑたやうなものだ◆茲に於てか既成政黨の改造といふ事が必要になる政黨が改造さるれば墮落した議會も救はれ幾らか光明を放つだらう◆普選は則ち政黨改造と議會刷新の前驅たるべきものだ普選實施後は政黨が數派に分れ却つて面倒になるかも知れないが兎に角普選の實施は今日において最早や避くべからざる勢となつた◆斯うして日本内地の政界は今後次第に議會政治、政黨政治に步を進むることゝ思はれる◆憲法を起草した伊藤公は自由黨を土臺に政友會を組織し軍閥官僚の巨頭と言はれた桂公も晩年には憲政會の前身同志會を組織したではないか◆併しそれは日本内地の政治のことで植民地は別物だ内地が議會政治、政黨政治の世になつても植民地はその以外に超然として起つべきものである◆それを内地延長主義に依つて一緒くたに扱ひ母國の政變每に植民地首腦者の雁首を取替ゑる樣な事になつては大變だ◆さうなると議會政治、政黨政治が植民地にまでも延長して其の弊害をも併せて輸入し植民地の開發經營に阻害を與ゑる◆土臺が丸きり違つて居る植民地を内地の一地方同樣に考ゑ内地延長主義などいふ妙な言草を作つて植民地までも政黨化するのは飛んでもない間違ひだ◆英國の自治領植民地にはその植民地限りの憲法が布かれ立法議會が設けられ隨つて政黨らしいものもあるが其の憲法も立法議會も母國のとは大いに異なる◆王領植民地又は直轄植民地には議會も政黨もないそして英國はその植民地を飽くまで特別扱ひにし決して母國と一緒くたには仕ないのである◆日本の新領土たる臺灣や朝鮮それから租借地たる關東州は内地に接近して居るから母國の政變每に多少の影響を蒙る◆例へば大連市制改正の如き加藤友内閣時代からの懸案であるのに其後政變が猫眼の如く起るので今に法制局の書棚の中に空しく投り込まれて居る◆之を勅令を以て公布するのはヤハリ内地延長主義のやうな意味があつて面白くない斯んな事は臺灣の元の律令か朝鮮の制令のやうに長官の權限内で發布させたい◆何にしても内地延長主義などは綺麗さつぱりと打切つてしまひ此の主義のために植民地を惡化せぬ用心が大切だ。

社會政策の根本觀念

協調會理事　永井亨

(一)個人主義と社會主義

社會組織又は社會思想には個人主義と共同主義との二系統二方面を有する。社會主義は共同主義思想に偏し、自由主義は個人主義思想に陷つたものである。個人的思想と共同的社會思想は社會組織、社會思想の基礎觀念たる二系統である。近世個人主義思想は天賦人權說及び民約說に胚胎し、法律上に於ては天賦の人權所有權の不可侵、契約の自由等の原則となり、經濟上に於ては私有財產制と自由競爭制を確立し、更に法學上の問題としては權利哲學の完成を促し、經濟學上の問題としては謂ゆる正統經濟學の發達となつた。自由主義、資本主義、營利主義は皆個人主義思想を代表するものである。無政府主義はその最も極端なる個人主義思想である。近世個人主義思想の反動として生まれた社會主義思想は私有財產、少くも土地及び資本の私有と自由競爭とを廢止して個人の基本的財產的權利の自由を無視せんとするものである。共產主義、社會主

義並びに佛國に起つたサンヂカリズム等は皆之に屬する思想である。

個人主義は各人の個性及び本能の儘に放任して社會をして個人に隷屬せしめんとするもので有り、社會主義は社會に對する個人の服從を過度に强制して社會をして個人を吸收せしめんとするもので有るが、兩者共に社會の存立發達を維持し、各人をしてその所を得せしむる所以でない。兩主義は普通凡ての主義即ちイズムが一方的であり、分派的であり、何れにも多くの眞理を存するけれども、寧ろ眞理は二者の間に横はつて居り、その眞理はその何れの一方に存する眞理よりも大なるものである。兩主義は共に本來の性質上絶對的價値を有するものでなく時代と人種と國情の異なるに從つてその價値を異にする。兩者の性質は動もすれば反對敵視する勢力を有つと同時にまた調和統一の可能性及び必然性を具へて居る。そこで結局社會組織又は社會思想に關する眞理は個人主義と共同主義との調和統一に求むるの外ない。

元來社會と個人とは二の特異なる實體でなく兩つながら抽象的觀念である。社會を離れては個人の觀念を生せず、個人は社會的文化の產物であり、又個人を離れては社會なく、社會は個人の協同組織であり、そして個人は社會的協同の力に依つてのみ存在し、また個人は社會的表現によつてのみ自己の表現を見出し得るのである。これが社會的調和統一の生ずる所以である。

(二)自由思想と平等思想

從來の個人主義は個人的自由を基礎として立ち、社會主義は社會的平等を根柢に横たへてゐる。天賦人權說は自由と平等を標語とした。自由は本來個人的絶對的思想であり、平等は本來が共同的强制的觀念である自由と平等とを天賦人權說が同時に主張したことは、一見論理の矛盾の如くであるが、當時久しく專制時代

の壓迫に苦んでゐた人民が、個人的自由を渴望した結果、各個人は階級的支配を免かれ、等しく法律の保護を受け、均しく自由權利を獲得すべきものと云ふ意味に於て平等を主張したに過ぎない。また當時の人類は自然情態に於て平等のものであると云ふ消極的意味に於て人爲的不平等を避けんとしたに止まり人類自然の不平等を積極的又は人爲的に平等ならしめんとしたものでは無い。之に反して社會主義思想は社會（又は階級）共同の利益の爲めに個人の自由を犧牲にして、人爲的に强制的に個人の自然的不平等の情態を去らしめそして社會的平等を得せしめんとするものである。社會主義はその本來の理想に依り保守的國家思想や個人的自由思想を離れて專ら社會思想（實は階級的）そのものに眞理を求めんとした。從つてその主張するところの平等は、社會の强制を以て人爲的、積極的平等を期せんと欲するのであつて、個人主義の如く個人の自由を以て自然的、消極的平等を得んと望んだものではない。

舊自由哲學は人類自然情態の平等と云ふ立脚地から單に制限の撤廢によつてのみ自由の守護が達せらるゝものと信じた。併し各人の自然的不平等の力では、殊に實際的强力の脅威があつては、到底眞の自由は期し得られない。世に不平等を平等の如くに放任して取扱ふことよりも大なる不平等はない。自由の極端なる形式は政治上において專制、經濟上において奴隷制度といふ最も甚だしい形式となつて現はれた。併しながら社會の平等的强制のみでは到底眞の自由は達し得られない。世に不平等を平等の如くに强制して取扱ふことよりも大なる不自由はない。平等の極端なる最も甚だしい形態は壓制と屈從の兩面となつて現はれる。要するに社會的平等と個人的自由との調和が眞の自由となるのである。

（三）權利思想の變遷

古代に於ける社會組織は正義の觀念を基礎となし、正義は政治的、社會的及び法律的德義の一切の基準であつたが、近代に至り法律、道德、宗教等の分化の行はるゝに從つて、正義思想から權利觀念が分化發達し殊に產業革命に伴ふ現代經濟組織は殊に權利思想の發達を促進した。古代の希臘、羅馬には法學の進步が著しかつたにも拘はらず、權利觀念は未だ發達するに至らなかつた。命令、服從の關係にのみ支配された古の社會では、國家團體に對する義務觀念のみが發達し、個人の權利思想は進步するに至らなかつた。後に天賦人權說に胚胎した人權又は自然權も、古來の自然法學及び中世理想學派の影響を受けたもので、未だ昔時の社會的正義の觀念を離脫したものではなかつた。天賦の人權は名義上消極的權利たるに止まつたものが多く而してそれが後世に迨んで偶々財產、契約、營業、相續等の自由となつて少數者の利益と多數者の不幸を生ずる結果ともなつた。更にそれが個人的營利的自由思想の勃興から近世權利法學及び私法々典の發達ともなり、個人の利益、財產を目的とする財產權の確立ともなつた。然しながら個人の生存、人格、職業等を基礎とする生存權、人格權、勞働權等に至つては、僅かに社會的立法の保護を見るに至つた外、今日に於ても猶は一般に法律上積極的權利として之を認むるの域に達して居ない。

賃銀勞働者の全生存は謂ふまでもなく勞働契約の內容と之れに伴ふ情態に支配されてゐる。然るに民法の中心は物上財產權の保護に存し、勞働者の生命身體と離るべからざる勞力に就ては、一般に私法上の形式が缺けてゐる。勞働者自衞團體の發達から法律が團體的勞働協約權を公認するに至つたのは最近の出來事である。現代の法律及び道德は勞働者を自主的人格者と認めたけれども、彼等の運命は現代經濟秩序の下には事業主の利益の爲めに支配され、また人格上にも雇主の統制權が及んでゐる。勞働は商品であり、羅馬法の謂ゆる代替物であることは、大戰後平和條約の勞働憲法を以てしても、容易にその情態を一變し難い。假令今

日の勞働者は最早公法上の勞役を强制さるゝことは無いにしても（勞農露國が數年に亘つて强制勞働の制度を實施した例外もある）、嘗ては人格そのものを物品の如くに看做した奴隷年期契約から、今は人格と分離すべからざる勞力を別種の商品の如くに取扱ふ賃銀雇傭契約となつたのである。將來の權利思想や契約觀念は時代思潮の變化と共に、之れに伴ふ法律の社會化と相俟つて必らず變革を見るに至るであらう。最低生活賃銀、最長勞働時間、團體勞働協約に關する權利の如き、或は普通選擧、國民教育、小兒保護、婦人對等、失業保障に關する權利の如き、皆最近の發達にかゝる權利思想に屬するものである。從來の資本獨裁權や勞働全收權の如き權利思想は何れも漸くその跡を絶たんとしてゐる。

(四)正義觀念と人格觀念

正義又は公正の觀念は社會的、他主的のものであり、人格の觀念は個人的、自主的のものである。正義觀念は責任義務の思想となつて古來早く發達し、人格の觀念は近世の權利思想となつて次第に進歩した。正義は人格の觀念と調和統一した社會的責任思想であり、人格は正義觀念と調和統一した個人的權利思想である。正義思想は遠く希臘時代に發達し、希臘及び羅馬の法律も、英國の古代法も、その基づく根本觀念は正義であつた。正義は平等、公平（衡平）及び應分（適應）の三要素を含む複成的觀念であつた。そは社會平等及び公平を基準とし各人をしてその所を得せしむる事である。人格の觀念は近世に至つて獨逸哲學となつて發達した。人格は個人の理性又は自由であるが、寧ろ個性の統一、自我活動の統一とも云ふべき統制的調和的觀念である。正義は個人の理性と自由の發達に伴ひ、人格は社會の秩序と均衡に基づき始めて完成する。正義と人格とはその系統、方面を異にするのみで、歸するところは一である。正義は合理的、向上的の觀念であり

精神的統一化、卽ち人格の社會的表現とも言ふべきものである。人格の基礎となる自由は、社會的秩序の中に、又これを通じてのみ存在し、正義を發達させる爲めに各人に機會を與ふる公平の觀念に外ならない。斯くて正義も人格も同一の觀念に歸して、一は社會を組織する各要素の適處適應であり、一は各人の性情中に存する各要素の適處適應である。一は社會全體の調和秩序であり、一は個性全體の調和統一である。就中相鬪ふ諸衝動の調和こそ正義、人格孰れの觀念にも通ずる特徵である。正義は社會意識に出發し、人格は自己意識から發達し、何れも調和統一の意識であり、さうして社會我の觀念に歸一する。個人の自覺と理性の發達から社會共同の目的を達せんが爲めに協力協同することに依つてのみ社會の秩序と個人の自由とが完うされ、そして正義と人格の二觀念が完成さるゝのである。

(五)社會政策の哲理

社會政策に哲理ありや否や、社會政策は社會問題解決の根本思想を有するや否やは、從來學者の間に議論の存するところである。社會政策又は社會改良の哲理を說く學者も、或は生存權又は人格權の如き權利思想或は社會奉仕の如き責任思想に之を求めんとして未だ一定するところがない。斯る個人的權利思想や社會的責任思想を以て社會政策の根本觀念とすることは、社會政策が個人主義又は社會主義の何れの思想系統にも屬せざる所以のものたるを明かにするに足りない。

社會政策の哲理は社會と個人との協同調和、卽ち社會協調に存し、社會的正義と個人的人格との歸一統制卽ち社會我の觀念に求むべきである。從來社會政策に關する學理又は學說が社會の調和を標語とした所以も玆に存ずるものと謂はざるを得ない。或學者が社會經濟思想に關する眞理は社會主義と無政府主義との中間

に横はつて社會連帶主義と名づくべきものであると說いたのは社會政策の根本觀念に觸れ得たものであらう社會問題解决の根本思想は個人主義と社會主義(又は共同主義)兩思想との統一的觀念、正義と人格の歸一的觀念に横はつてゐる。社會協調の眞理、社會我の哲理が社會政策の根本觀念である。社會階級の調和と個人の社會的協力が社會政策の哲學的基調である。世界を震撼した歐洲大戰後に勃興した社會化の思想も各個人が適處適應して社會的協力を爲すに至る過程に外ならないのである。

(六)社會政策と經濟其他

現代社會が思想の統一を缺ぎ、社會の調和を紊すに至つた一主因は、經濟、政治、法律、道德、宗敎の分化分業の弊である。古代の社會は正義の觀念を以て政治的、社會的、法律的德義の一切の基準とした。然るに近世に於ては法律、道德、政治、宗敎等の分化に伴ふ權利思想の發達や、經濟組織の變革に基づく個人思想の進步に從つて、次第に義務責任觀念の退步となり、社會主義思想の勃興と相俟つて、遂に現代社會思潮の混亂を來すに至つた。此の混亂に對して、社會政策は法律、經濟、政治一切の社會の根柢に社會と個人の統一思想、正義と人格の歸一觀念を横たへんとするものである。

社會政策は現代の歷史的社會經濟秩序を犧牲にすることなく國民經濟の健全なる秩序ある發達を期せんとするものである。今日までの勞働者保護の政策や勞働者團結組織の奬勵が企業界に合理的技術考案を採用するに至らしめたこと、また社會保險の制度が損害の豫防に大なる效果を奏せしめたことは其の明かなる例である。社會政策は國民經濟の根柢たる企業心と創造心を阻害するものでない。且それ利潤額が唯一最要の企業心、創造意の動機とならないことは、少くも大事業に於て日常實證するところである。社會政策は勞働者

をして理智を進め、道德を高め、責任を知つた國民經濟上の支柱者たらしむべく養育せんとするものである。猶ほ社會政策は國民經濟に對する如く政治及び法律に對しても極めて密接な協力關係を有する。憲法、行政の民衆化、民法、商法の社會化は、社會政策の目的を達する上に最も重要なる手段である。代議政體の發達、選擧權の平等等も社會政策と相俟つて始めてその目的を達すべきものである。

吾人の經濟的及び社會的生活は益々社會道德を必要とする。吾人の經濟社會に怖るべき道德免除の聲を叫ばしむるに至つた今日、日常經濟生活の上に生産的道德的思想の發達を期すべきことは何よりも急務である。社會政策は勞働階級の道德的文化を建設し資本階級の道德的破壞を防衞するものである。斯くて社會政策は政治上の民衆立憲制度を確立し、國民經濟の生産秩序を確保し、社會道德の進展を期し、社會立法の發達を圖り、政治、經濟、法律、道德の調和統一を目的とするものである。

少年團の來歷と本質

子爵　三島通陽

ジャンボリーの事を說く前に先づ私が何うして少年團を組織する樣になつたかと云ふことから一言致さう世界大戰後、私が我國の講和大使の隨員として佛國へ行く途中、布哇に立寄つて公園を散步した時、其處には各國人の子供たちが嬉々として樂しそうに遊んで居た。世界各國の大人は爭つたり鬪つたりして居るのに子供連は、種族の違ふのも、國家の異なるのも、そんな事は意とせず、仲よく遊び戲れて居た。之れを見た時に私は總ての指導を子供の時代よりせなければならぬと深く感じた。當時作つた童謠に、

太平洋上の樂園

大海原の眞只中に　ポカリと浮いた布哇の小島　いつも靜かであつたかで
うらゝかの太陽は此の島の　誰れの上にも輝き渡る　日本の子供の太郎さん
支那の子供の有陳さん　土人の子供のパパヤさん　アメリカ人のジョージさん
みんな仲よく遊びましよ　パパヤさんは木のぼり上手　バナナを一つもいでくれ
それから皆んなで野原へ行つて　花を集めて花輪を編まう　潮風が吹く花が散る
空には花の蝶も舞ふ　椰子の木かげに鳥が鳴く　磯には魚がやつてくる

大人同志は仲わるくても　子供同志はお友達　みんなで仲よく助けあひ
心持よく遊びましよ　いつまでも……　いつまでも……
大人になつても仲よくしましよ

と云ふのであつた。斯ういふ動機からボーイ・スカウトを始める樣になつたのである。多くの人はボーイ・スカウト(Boy Scout)とジャンボリー(Jamboree)と少年團とを別々のものゝやうに考へ、或は混同して居るがボーイ・スカウトと云ふのは英國の陸軍中將ボーデン・パウエル氏(Sir Robert Barden Pawell)の創業に成つたものである。南阿戰爭の時、同氏は南阿遠征軍の司令官として出征したが、其の時は大佐で、遠征軍の支隊が或町を占領して居る時、土人より攻撃せられ、其の重圍に陷ち、既に危險が迫つて居た。英軍は本隊にこの危急を報じ、其の救助を求め樣としたが、本隊との連絡が取れない。恰も其の時に英國植民地の子供達よ

り成る少年軍が組織せられた。ところが此の少年軍が大人より以上の能力を發揮し、或は木蔭に隱れてゐたり、或は木の上に攀ぢたり、或は草原に伏したりして、其の動作が活潑敏捷であるのを發見した。此の少年軍が巧みに敵の重圍を脱して本隊との連絡を取つた。戰爭が終つてから、ボーデン●パウエル大佐が英本國へ歸つて見ると、英本國の少年達は多くの不良性を帶びて居るので、之では可かんと思つて、ボーイ●スカウトを創始したのである。このボーイ●スカウトは如何なる事をするかと申すと、子供の團體を作り、子供の心理に向くやうな學課、遊戲、運動などを授けて其の個性の發達を圖るのである。

例へば野外的團體訓練、即ち兵事とか、火災の場合の活動とか、交通の事とか、盜難や不良少年に對する警戒とか、又學術に關しては、天文學とか、地文學とか、動植物學や、電氣の事から、寫眞術や、製圖、測量、印刷術等に至るまで、子供に判る程度のものを實地に就いて敎ゆるのである。詳しく例を擧ぐれば、水泳の達者なものには、土左衞門のあつた時には何ういふ樣に救助したら宜いとか、潮流を泳ぐときは何うすれば宜いとか、又は人工呼吸法などを敎へ、野營でもすると料理法なども實地に敎へる。ライスカレーは何うして作るとか、米一斗に水何程を要するとか、五十人の人員には何程の米や其他の物を用意せなければならぬとか云ふことや、乃至は寫眞の寫し方、乘馬法などゝ言つた樣に、種々な事を敎へ、そして其の技術に優秀なる技能を有する者には、簡單なる試驗を行ひ、合格した者には技能章（メリッド●バッチと稱す）を與へる。これは二十個迄を限度としてゐる。その技能章は左腕に附けるのである。

そうして居る内に子供連は自分自身で自分の個性といふものを發見する樣になる。例へば、自分は數學が不得手だとか、寫眞術が上手だとか、乘馬は下手だが水泳が得意だとかいふ樣に、自分の趣味と技能とが何處にあるかと云ふことを自覺する樣になり、そして自分の出來る事は自分でやるといふ自主獨立の精神も其

處から生れ出でゝ來る。由來十二三歳から十七八歳までの中學時代に於ける少年期は、人生の中で一番大切な時期で、其の人將來の人格や智識の基礎も、この時代に形づくられるので有るばかりでなく、彼等自身の內部生活も此の時代が殊に動搖し易いのであるから、之を巧みに善導すれば好結果を得るが、若し善導を怠つたが爲めにそれが惡い方面に脫すれば、殆んど救ふことの出來難い禍根を貽すことになる。斯ういふ點から見ても此のボーイ●スカウトは非常に意義ある事と思はれる。

ボーイ●スカウトの標語（モットー）はビー●プレペエアード(Be prepardo) 常に用意してあれと言ふのである。外國語をそのまゝ使用するのも變だから私は之を『サア來い！』と譯して見たが、それも面白くないので、世界語（エスペラント語）で『エスプレター』(Estupreto) と云ふて居る。『常に用意してあれ』といふ事は、例へばサア火事だと云ふやうな非常變革の起つた場合にも、常に用意してあれば、さのみ周章てる樣なことがないから常の用意、則ち萬事に用意して置くことが必要であると云ふのである。

ボーイ●スカウトは三本指で敬禮することが世界共通の仕方である。それには三つの理由があつて團の綱領と爲つて居る。それは第一に神及び皇帝に盡す、第二に常に進んで他人を助ける、第三に身體を壯健にしてスカウトの規則を守ると云ふので、佛國や米國などでは、第一を神及び國家に盡すとなつて居る。此の綱領の外に十二箇條の規則がある。服裝も、徽章も、大體は世界共通なものであるか、徽章は上部が槍で、其の兩側に百合の花を配し、其の下に英國ではリボン、米國では鷲を附け、更に其の下にビー●プレペーヤードと書いてある。國情と民性によりて自ら異なるのである。日本では八咫鏡を附けて、その下にエスプレターと書き、そして槍は正義を、百合花は愛を表はして居るのである。

ボーイ●スカウトの組織は、八人を一班とし、一班に一人の大學生をパトロル●リーダーとして附けてある

四班が五班で一隊となり、四、五隊で一團となつて居る。ボーイ●スカウトは右に述べた様な仕事をするので理想的の訓練には三十人位が一番宜しい。今日本にある少年團のやうに、遠足會やお伽會位な團體的訓練で三百人、四百人の集まりが只お祭騷ぎをするが如きは、私達の理想とするボーイ●スカウトとは大分相違して居る。多人數では以上に述べた樣な訓練が不可能で八人を一班とするのが理想的である。そして斯ういふ團體が年に幾回か集まつて、協議したり、樂しく遊んだり、運動競技をしたりするのをジャンボリー(Jamboree)と云ふのである。ジャンボリーはアメリカン●インデイアンの言語であつて、彼等十人連が集まつて遊んだり戲け騷ぐと云ふことであるが、それを良い意味に使ひ活かしたのである。

八歳から十二歳までをウルフ●スカウトと稱して居る。十三歳から十八歳までをボーイ●スカウトと言ふのであるが私のところのは彌榮ボーイ●カップと言ひ、目下五十人程の有志から成つてゐて其の團員は中學生である。その他青山學院の塚本さんのやつて居る青山ボーイ●スカウトや、細野さんのやつて居る少年斥候隊と云ふのが日本では代表的のボーイ●スカウトであらう。多くの人はボーイ●スカウトを軍國主義的であるから宜しくないと非難するがこれは大いに間違つた考へだと思ふ。

スカウト即ち斥候といふことは、世人より一歩先んするといふことで、パイオニヤー即ち後進のものゝ爲めに用意をすると云ふ事なのである。現今では世界各國殆んどボーイ●スカウトの組織されてゐない國はない英國などは總裁がコンノート殿下で名譽總裁には皇帝がなつて居られる。日本に於ても此のボーイ●スカウトの運動を全國に普及したが、聞くところに據れば、滿洲にも旅順と大連とに此のボーイ●スカウトが設けられ、金州には少年赤十字團が作られると云ふのは、洵に喜ぶべき事である。何うかそれ何れもが健全に生長して各その本質を發揮せんことを希望して已まぬのである。

社會問題としての結核豫防

京日旅順支局長　池内勝里

結核は傳染病中最も多い病氣で各國の統計を見ても死亡總數の七分の一乃至十二分の一は本病によつて斃れて居る。我國の如きは人口に對する率から云ふと外國に比較して二倍若くは三倍である。これ結核を以て日本の國辱病であると稱せられて居る所以であると同時に社會上由々しき問題と言はねばならないのである日本の結核病は斯くの如く多く、而も尙ほ逐年增加するので、內務省豫防課では根本的にこれを撲滅せんことを期し、大正十二年度に豫算二十萬を計上し、旣設結核療養所たる東京、橫濱、名古屋、京都、大阪、神戸、廣島の八大都市の外、近く金澤、札幌の兩市は理想的療養所を設置し、猶ほ全國で五萬以上の人口を有する四十六ヶ所の都市に對し、順次每年三、四ヶ所宛の療養所を設立する事になつた。更に東京市に於ては岩崎家からの七十五萬圓の寄附金を基礎として目下病床增加の計畫中である。

最近我國の肺結核死亡率は、死亡者一萬人に付き百七十人乃至二百人であつて、之が罹病者の數は殆ど信據すべき調査に乏しいが、醫學上の方法に據るときは死亡者の十倍と計算されるから、我國の一年間に於ける結核死亡者を十四萬人とすれば、其の罹病者は少くとも百五十萬人と見て差支ない。全國各都市の中で此の病者が人口に比例して多いのは、松山市を筆頭に金澤市、札幌市、高知市、東京市、廣島市、門司市の順序である。本病は男子にありては二十歲から三十歲まで女子にありては十五歲から二十五歲までが一番多く隨つて死亡率も一番多い。更に病理學上の統計から見れば男女とも三十歲以上のもので該病に冒されて居な

いものは殆ど絶無であると言はれて居る。然らば本病は如何にして傳染する乎。

(A)、傳染の徑路

私は醫者でないから能く分らぬが、醫學書によれば、結核の病原菌は桿狀菌であつて、呼吸器や消化器又は裂傷部から浸入傳染する、就中多いのは呼吸器結核である。本病の傳染は、患者の痰の乾いたものが砂塵と共に飛散しつゝあるを健康者が吸入するに因るものと、今一つは患者の咳嗽又は談話等によりて發する泡沫から感染するものとで、後者は特に感染力強く、三尺乃至五尺の處に於ても能く感染し、狹隘なる室には特に距離の遠近に關係なく病菌が室中に浮游して居るのであるから、患者の咳嗽には周到な注意を拂はなければならぬ。其他患者と同室で起居又は食事を共にしたり或は器具を借用したりする結果感染するのもある。殊に小兒には最も多く感染する。『搖籃で唄つた歌は最後の歌であり』と、泰西の名醫がいつた通り、結核は小兒の傳染病なりと稱せられて居る程である。而も本病菌は抵抗力極めて強く特に消毒藥に強い、普通の石炭酸水中には六時間經過しなければ死なぬ。就中咯痰中の細菌の如きは消毒藥に數日間浸すも尙ほ死滅せぬといふ事である。けれども本病菌は熱に對して比較的薄弱である、卽ち七十五度以上の熱で三十分過ぎたら死ぬ、百度になるときは五分乃至十分で死滅する。

(B)、療養所

病菌の傳染を豫防するには、患者を隔離すると共に、此の方面に對する一般人の智識を涵養せしむべきであるが、同時に其の實行が伴はなければ效がない。今回設置された療養所（サイトリウム）は此の意味においで豫防上に一新面目を開くものであると云つてよい。同療養所には建設費の二分の一と經常費の四分の一を何れも國庫から補助し、其他は地方においてそれ〳〵負擔する事になつて居る。個人的療養方法としては、多く人々を接する職にあるものを輕業させ、又は之れに對して健康診斷をなし、其の重きものは隔離し生活の補給として日給一圓五十錢を給與する事になつて居る。

元來此の制度は、獨逸に起つたものであつて、彼のビスマークが社會政策の一端として勞働保險の制度を布いた時、人口一萬に付いて結核の死亡者が三十人に達し、保險局に對する打擊は非常なものであつた爲め保險局の經營上から案出されたものが此の療養所である。現に獨逸全國にはそれが百數十ヶも設けられてあるが、其の大半は保險局の經營である。その後英、米、佛の各國とも競ふて之に習ふた結果、今や歐米の死亡率は人口一萬人に就き僅に十二三名に過ぎぬと云ふ事である。殊に最近本病の豫防に對する露國の活動は目醒しいものがある。即ち一千九百十八年の革命以來、露國政府は結核撲滅の事業を擧げて國家的事業となし衞生局に結核撲滅課なるものを新設した。同課の事業は(一)結核撲滅範圍内に於ける一切の社會事業を組織し且つ指導する事、(二)同上に關する諸種の規則を制定する事、(三)各地に支部を創設し結核の撲滅に關する設備をなす事、(四)模範的療養所及び林間學校を設置する事、(五)此種の宣傳に努力する事等である。此の目的を達成するために、委員會の提携は勿論、醫師團體及び工業家並に科學家團體、婦人及び少年團體、教育家團體等は相呼應して其の實行に努力して居る。一千九百十七年三月に於ける露國の革命は、社會的事業に貢献すべき有力なる機關設立の必要を高唱し、特に結核の撲滅に重きを置いたので、同年八月に於ける『疾病救助費金』に關する第一回會議の決議によつて、國民療養所を設くる事となり、先づペトログラード市が他に卒先して百萬ルーブルを支出し、現衞生局の結核撲滅課の設置を見るに至つたのである。

次に我國の京阪に於ける重なる療養所を擧げて見ると左の通りである。

△**東京市療養所**(東京)　之は東京市の住民で結核病に罹り療養の途なきものを入所せしむるのである。療養の途なきものと云ふのは、必ずしも貧困者と限らず、中流の家庭でも徹底的に療養しようとするには、普通の病院では數百圓乃至數千圓を要し、月給生活者の如きは打擊を蒙るので、斯種のものも齊しく入院せし

むるのである。定員は四百七十名で、病舍は十一棟に分れて居るが、何れも滿員である。

△救世軍療養所（東京）基督敎主義の病院で大正五年の創設である。こゝでは藥餌よりも自然療法に重きを置いて居る。輕症者は日曜日に會堂に集つて禮拜を行ひ講話を聽く事になつて居る。入院料の如きも他の病院に比較して非常に低廉で而も親切であると云ふのが特色である。定員は百二十名で病舍は五棟に分れて居る。入所せんとする者は、救世軍病院の診察を受け、其の承諾を得ねばならぬ。救世軍病院は東京市下谷區にあつて、同院内には救世軍結核相談所といふが設けられてある。

△白十字軍結核早期診斷所（東京）本所の起源は、明治四十四年先帝陛下が貧困な病者の爲めに下賜せられた聖旨に感激した市内に在住する一部の醫師が、結核病の撲滅を目的として組織したものであつて、傍ら林間學校をも經營し、そして此の診斷所は財團法人組織である。結核の疑ひある人々を無料で診察し、其の療養方法を指導敎示し、且つ療養所への紹介の勞をも執るのであるが、更らに月刊雜誌『白十字』を出し時々結核豫防講演會をも開催して居る。

△大阪市立の根山療養所（大阪）一切の經費は療養所の負擔である。入院希望者は大阪市内在住者で結核病毒傳播の虞ありと認めたものに限られて居る。口頭又は警察署方面委員の手を經て申込むと、所員が實地に調査して、必要と認めた場合に入院せしむるのであつて、約二百七十人を收容し得る。

△神戸市立屯田療養所（神戸）本所に收容すべきものは、神戸市民であつて療養の途なき患者に限られ、費用は一切無料である。病狀や生活狀態を實地に調査して收容の許否を決する。

此の外、私立のものでは神戸の天兒病院、須磨浦病院、大阪では赤十字社支部療養所、濱寺石神病院、東京では國民醫院、杏雲堂醫院、東洋内科醫院、養生園、水里研究所附屬病院等が有名である。其の中で東京

のものは過半今回の震災で燒失又は倒壞したけれども何れも近々再築される筈である。

(C)、療養所の目的

療養所の目的は言ふまでもなく患者の病氣を治癒せしむるにあるが、其の方法は藥餌よりも自然療法に重きを置いて居る。從つて重病者よりも輕病者卽ち初期のものをば短期間收容し療養所の生活によつて療養方法を習得馴致せしめる。卽ち退所後患者自らが本病に對して習得したる治療法と豫防の新智識とを實際に應用して其の效果を實現せしめんとするのである。

(D)、豫防方法

現今の豫防方法としては、前述の通り、私設又は既設のもの以外に、過般の改正によつて、五萬以上の都市には總て之を設備せしめ、徹底的にその豫防と撲滅とを期せんとするもので、市に其の設立の義務を負擔せしめる事になつたのである。

此の改正法によると、地方長官に健康診斷を行はしめ、其の結果、結核患者には職業の禁止又は停止を命じ、或は不良家屋の改造若くは使用を禁する等、種々な强制權限を附與してある。けれども、同法は警察的法規でなくして一種の救濟的法規であるから、從つて政府において其の費用の一部を補助することによつて居る。其の場合の條文を擧げて見ると次の通りである。

(一)、地方長官ニ於テ法第四條第一項ノ規定ニヨリ健康診斷ヲ施行シ又ハ物件ノ廢棄ヲナス場合ハ其ノ費用ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス(法第四條ニ)

(二)、地方長官ガ患者ヲ療養所ニ入所セシムル場合其ノ入所ノ費用ハ當該療養所ヲ設置スル其ノ公共團體ノ負擔トス(法第七條ニ令第五條)

(三)、入所患者ハ療養ノ途ナキモノノミニ限ラザルガ故ニ療養所ノ管理者ハ入所費用ノ全部又ハ一部ヲ本人ヨリ本人ニ對シ徵收不可能ト認ムル時ハ其ノ扶養義務者ヨリ徵收スル事ヲ得(令第六條ノ二)

(四)、入所中死亡シタル者ニ對シテハ其ノ遺留財産ヲ以テ費用ノ全部又ハ一部ニ充ツ(令第七號)

更に生活費の補給を受くべきものは左の一に該當するものになつて居る。

(イ)、從業を禁止せられたるもの

(ロ)、從業を禁止せられ又は入所せしめられたる者の配偶者又は子(養子又は家督相續人に限る)にして現に之れと同一の家にあるもの

(ハ)、右の外從業を禁止せられ又は入所せしめられたるものに依り扶養を受くべきものにして禁止又は入所を命せられたる時より引續き之と同一の家にあるもの

生活費の補給は補給を受けんとするものゝ申請により地方長官に於て其許否を決定す

元來結核の豫防事業は近年に至りて漸く發達し、獨逸の醫師フレメール氏の考案に係る療養所制度が其の濫觴であるが、其の目的は數ヶ月間に本病に對する一般的智識を與ふると共に、該病の傳播を防止するにあるので、現今全國に十余萬の病床を設備して發生患者の大半を收容する外、結核相談所の如きも到る處に設備せられ、其數六百に垂んとして居るといふ事である。然るに我國では、本病に對する一般の理會が少ない為め、入所を嫌忌したり、或はまた故意に隱蔽したりする傾向がある。其の結果、徒らに病勢を蔓延せしめて底止するを知らないといふ有樣であるのは甚だ遺憾と謂はねばならぬ。治療費に苦しむといふ事も、其の一因をなして居るのであるが、この點において、今回の改正法は患者に對する一大福音であると同時に、本病の防止に對して一新機軸を出したものと見て差支ない。

✖ ✖ ✖ ✖ ✖ ✖ ✖ ✖ ✖

善行嘉事＝其の優秀なる人々（一）

東宮殿下御成婚の慶典盛儀が行はれた此機會に本研究會は滿洲に於ける日支人中より特に善行に秀でたものを撰拔し社會人心のために之を機關雜誌「滿洲之社會」に掲記表彰せんと思ひ立つた此の善行者なるものは昔のやうに孝子とか節婦とか義人烈士とかに限つたものではない職務に忠實に社會のため他のために盡して倦まざる人々も等しく善行者である個人美點中の特に秀でた點も表彰したいのである大方の諸君子願くば公平無私にその優秀なる善行者を撰みて之を本研究會に通告せられんことを至囑々々（一記者）

大正十一年十一月（第壹回表彰）

社長室勤務（監察員）

職員　谷本金次郎君

慶應二年十月三日生

一、原籍　京都市上京區聖護院川原町三十五番地ノ三

二、入社　明治四十年三月十一日

三、履歴の大要　入社以前は會計檢査院に奉職せり

四、表彰事實　資性温厚篤實にして志操堅固、精勵恪勤にして入社以來監察事務を掌鞅し茲に十有五年孜々として倦むことなし其の職に臨みては至誠以て事に當り苟も權勢に屈する等のことなく世の毀譽褒貶を省みず其の身を犧牲に供して正邪を匡し公平を保ち而して其の幾多の業蹟は監察員たる好典型たるを失はず又部下を遇するに懇切にして誠意に富み之かため内外の信望悉く一身に蒐まる寔に社員の儀表たるに値ひす

五、私生活　家庭圓滿にして嘗て何等の風波ありしを聞かず日蓮宗を信じ園藝を樂む

大連消防隊勤務（消防手）

傭員　胡　書　良君

光緒十七年九月九日生

一、原籍　山東省登州府文登縣威海衛華家村

二、入社　大正二年三月二十九日

三、表彰事實　入社と同時に消防手に命ぜられ爾來今日に至るまで滿鐵消防隊本部に勤務せり、此人は性質謹嚴にして克己自制の精神に富み入社以來終始一貫精勵恪勤にして職務に熱心に責任觀念も亦熾烈な

り、平素規律を嚴守し行動敏捷にして他消防手の範と爲すに足る火災起りて一度出動するに際しては常に勇敢機敏に献身的行動を爲し消防作業上多大の效果を奏せしこと尠からず、且又た上司に對し敬虔にまた僚友を推奬して止まず寔に消防手の典型にして社員の模範たるに愧ぢず

四、私生活　父母妻子を郷里山東に殘留し獨身生活を營み居るも品行極めて方正に質素謹嚴にして相當貯蓄を爲しつゝあり

埠頭事務所陸運課勤務

職員　**井上代四郎君**

慶應二年十二月二十二日生

一、原籍　佐賀縣三養基郡旭村大字江島六七一番地

二、入社　明治四十四年九月三十日

三、表彰事實　入社以來現業實務に從事し勤勉力行事に當り經驗豐富にして技能正に圓熟の域に達せり、大正八年以來最も困難なる新設野積場管理の任に當り献身努力以て事務を處し其の業務の堅實、地域内の清掃、防濕の完備、用具の整頓、荷主に對する懇切等一として到らざるなく他の遠く追隨し能はざる成績を擧げつゝあり、同僚に對しては温情克く調和を保ち後進に對しては寛嚴宜しきを得、率先して事に當り自ら範を示し部下をして社員としての責務を完うせしむべく努力しつゝあり其の責任觀念の熾烈なる稀に見る所にして暴風雨の際、野積保管物防護のため夜間に非常出動して表彰されしこと數回に及べり

電氣作業所勤務

雇員　**吉田榮君**

明治二十八年十一月十九日生

一、原籍　大分縣北海部郡臼杵町二〇七六番地

二、入社　明治四十四年七月一日

三、表彰事實　操行端正、職務精勵、特に向上心に富み研究心汪なり、入社以來終始一貫勉めて倦まず嘗て市内電車を停車せざらしめんが爲め變流機運轉に最も困難とする「カーボンブラッシユ」の「ターミナル」を改良し以て「スパーク」を根絶せしめ其他機宜の工夫を凝らして機器の改良を計る等その成績抜群なり、且同僚に接するに親切を以てし部下の指導亦宜しきを得、特に私生活に在り

ては常に家計の上に注意し孝養の念深く勤儉以て老母の扶養を爲すを樂みと爲す

大正十二年四月（第貳回表彰）

埠頭事務所海運課勤務

職員 衞藤亥吉君

明治二十六年一月四日生

一、原籍　熊本市洗馬町下一丁目四十番地

二、入社　明治四十三年一月一日

三、表彰事實　資性溫厚にして思慮堅實、頭腦明晰にして向上心に富み刻苦勉勵己の短を補ふに努めて倦まず、明治四十三年一月見習學校を卒へたるうへ埠頭事務所勤務となり爾來其の職務を重んずること固く精勵にして部下に厚く其の人格は上下共に敬愛する所なり、現に上屋輸入部主管の重要なる職務を擔當し常に成績拔群なり、尙家庭に在りては老母に孝養を盡し弟妹の教育に意を注ぐ等內外共に推奬する所なり

電氣作業所勤務

職員 杉浦兼吉君

明治十一年十二月二十六日生

一、原籍　東京市芝區濱松町二丁目二十五番地

二、入社　明治四十年八月三日

三、表彰事實　人物溫厚にして技能優秀に責任觀念もまた熾烈なり身を一雇工より起し實際家としての經驗極めて豐富に其の技能の優秀なる遠く他人の追從を許さゝるものあり電氣作業所必須の人物たり部下を愛撫し統御また宜しきを得、信任を受くること厚し其の精勵なる入社以來十五年餘殆ど缺勤したる事なし責任を重んじ成績の拔群なるは上司僚友の齊しく嘆賞する所なり

大連機關區勤務

傭員 深堀辰五郎君

明治十四年一月二十四日生

一、原籍　長崎縣西彼杵郡浦上山里村里郷

二、入社　明治四十二年六月一日

三、表彰事實　思慮堅實にして己れを持すること嚴に向上心に富みて新智識を硏くに意を用ふ、明治四十二年六月大連工場組立工として入社以來恪勤精勵以て今日に至る、技能成績亦拔群にして大

正九年以降組立工全般の組長として日支人四十一名を率ひ機關車修繕の責任を全うし上下の信頼を受く職務上の研究心も盛にして部下を統御するの才能亦優り上司同僚の畏敬する所なり

地方部庶務課（北公園）勤務（園丁）

傭員　**宋　容　廷君**

光緒三年一月五日生

一、原籍　直隷省天津縣河東上崗子六區八號地

二、入社　明治四十三年十二月二十一日

三、表彰事實　性温厚篤實にして職務に精勵に成績亦拔群なり入社以來園丁として多年の經驗を有し技能頗る優秀に責任觀念の熾烈なる稀に見る所なり、日常の注意周到なるは勿論、休日其他時間外と雖も命ぜられたる職責を果さゝれば自ら休むことなく殊に風雨霜雪の夜の如きは敢て上長の命を待たず自ら起き出て温室苗圃等の手當を爲し其の成績もまた群を拔く且つ部下たる中國人に勉學を勸めて文字を解するに至らしむる等その指導亦宜しきを得、上司後進共に信を置くこと厚く洵に良社員たるに愧ぢざるなり

以上は滿鐵社員中特に秀でたる善行者の表彰なるが大連市區委員の報告に依り若しくは本研究會において直接取調べたるものを掲ぐれば左記の如し

小林又七支店工場監督

伊藤平太郎君

明治十七年九月十七日生

一、原籍　東京市麴町區紀尾井町六番地

一、現住　大連市吉野町八番地

一、表彰の事實　世に十年乃至二十年の勤續者なるものは其の數において敢て乏しくないが其の勤續中一回も休務せずに而も熱心に忠實にその職務に陰日向なく働くものは少ない然るに爰に掲げた大連市吉野町小林又七支店の工場監督をして居る伊藤平太郎君は明治三十八年四月東京の小林本店から店主の太田信三君と共にこの大連に來り支店創業以來茲に勤續二十年に及んだのであるが此間一日も缺勤したる事なく職務に極めて忠實で精勵孜々として倦まず一回の不平も苦情も述べた事なく意思力極めて鞏固に且公平無私で何事かあると自ら進んで其の難局に當るを辭せないと云ふ美

點を有つて居る印刷工場の監督であるから店主と事務員と工場員との中間に介在して人知れぬ種々の苦心を要するのであるが君は如何なる問題起るも平然として能く之に當りそして勞資の協調に努め店主のために盡すは勿論部下職工のためにも犧牲を拂ふことあり之が爲め太田支店長以下多數の大いに推服する所となつて居る。

救世軍大連ホーム勤務

早川久滿子孃

明治元年十二月八日生

一、原籍　東京市麴町區平川町六丁目

一、表彰の事實　孃といつても五十七歳のお婆さんで十年一日の如く信玄袋を持つて大連市中を廻つて居るため今日ではホームのお婆さんと云へば誰知らぬ者もないほど一般に認められて居る此のホームのお婆さんの身の上話しをすると一篇のドラマチックが出來上るといふ位に人生の行路を紆餘曲折して來たのであるが家庭上の關係から一朝信仰生活に入るや全然生れ更つた樣になり現在の救世軍婦人及び育兒ホームがまだ松林町に在つた明治四十年の時代から一身を救世軍の仕事に献げ不幸なる婦人や子供のために盡し寄附金の募集や集金にも當り風が吹いても雨が降つても絶えず内外に活動して居るその身體の強健と精神の高潔とは恐らく信仰生活の賜物であらう此のホームのお婆さんには立派な年頃の子息が三人もあつて皆それ〲職に就いて居るので時々呼寄せの書面が來たり小遣錢を送つて來たりするがお婆さんは斷乎として之を斥け私は神の召さるゝまで單身獨行して勤めますから心配して下さるなと却つて子息たちを赤面させると云ふ有樣だ物質的風潮の激しく爲つた當代に而もこの大連に斯うしたお婆さんが居るのは洵に心強い次第である。



少年團日本聯盟の

研究資料

少年團日本聯盟の現況

在東京　一記者

少年赤十字の事は既に昨年四月發行『滿洲之社會』誌上に詳しく記載されてあるし又ボーイ●スカウトの來歷やジャンボリーの性質等に付ては別項三島子爵の論文中に説明されてあるから會員諸君は之を讀んで了解して貰ひたいソコで爰には少年赤十字以外に設立されて居る少年團日本聯盟の情況に關し三島子爵の論文と重複せざる方面の事柄を世人の參考までに二三摘錄して見たのである。

少年團の規約と役員　歐米諸國では十數年前から少年團が續々組織せられ其の運動は今や既に世界的となる時期に達したが我國でも此の計畫は數年來朝野有志の間に試みられ少年團日本聯盟が公然成立したのは一昨大正十一年四月である今その規約を示せば

少年團日本聯盟規約

第一條　本聯盟ハ日本全國並ビニ植民地ノ少年團ヲ以テ組織シ少年團ト稱セザルモ事業ノ性質少年團ニ準スルモノハ亦少年團ト見做ス

少年團ノ地方聯盟ハ別ニ一個ノ少年團ト見做ス

第二條　本聯盟ハ少年團相互ノ聯絡ヲ保チ其ノ發達ヲ助長シ而シテ其ノ共同ノ事務ヲ處理スルヲ以テ目的トス

第三條　本聯盟ノ事務所ハ當分文部省内ニ置ク

第四條　本聯盟ニ理事長一名副理事長及理事若干名ヲ置ク

第五條　理事長ハ大會ニ於テ少年團關係者ヨリ之ヲ選擧シ任期ハ二ケ年トス、副理事長及理事ハ理事長ノ指命トシ理事中ヨリ常務理事若干名ヲ互選

ス其任期ハ各二ケ年トス

第六條　本聯盟ニ總裁、副總裁、監事及顧問ヲ置ク

第七條　理事長ハ隔年一回大會ヲ召集スルモノトス

但シ必要ニ應ジ臨時大會ヲ召集スルコトアルベシ

第八條　本聯盟ニ於テハ機關雜誌ヲ發行ス

第九條　本聯盟ノ經費ハ當分一團體一ケ年金貳圓宛ヲ醵出シテ之ヲ支辨スルモノトス

第十條　本規約ハ大會ノ決議ニアラザレバ之レヲ變更スルコトヲ得ザルモノトス

第十一條　本規約ノ細則ハ別ニ之レヲ定ム

次に現在の役員は少年團日本聯盟總裁子爵後藤新平、理事長伯爵二荒芳德、副理事長子爵三島通陽同尾崎元次郎、同大迫元繁、理事片岡重助、同細野浩三、同米本卯吉、同平井廣人、同深尾韶、同渡邊久作、監事乘杉嘉壽の諸氏であつて此の日本における少年團聯盟がいかに有效にその歩を進めつゝあるかは事實の上に極めて顯著な證明をして居るのである。

少年團の主なる事業　本聯盟の主なる事業は各國少年團との連繋少年團相互の連絡提携、少年團事業の研究調査、少年團の指導及び指導者の養成、ジャンボリーの開催及び援助、講習會及び講演會の開催、機關誌の發行、少年少女の讀物の調査編纂、少女會の發達助成、少年團員の見學、旅行等の案內、代理部設置等である昨年九月我が國民を騷がした關東地方における稀有の震火災に際しては本聯盟も其の綱領に基き他の公私諸團體と共に鋭意救護事業に從事し其の成績頗る見るべきものがあつた左に其梗概を擧げて見よう。

（一）大震大火災に因つて罹災せる多數の少國民を救護慰安し且斷たれた勉學の途を應急的に與へざるべからずと爲し本聯盟主催の下に左記六箇所に野外少國民學校を開設し二千餘名の兒童を收容し非常時に於ける國民敎育を試み相當の成績を擧ぐることを得た各學校の兒童數、敎師數及びその開校期日等は左の如くである。

學校名	開閉校日（右開 左閉）	兒童數	敎員數
日比谷	九月二十日 一月十日	四五七	二七
九段	九月十九日 十月七日	二一〇	二六
淺草	九月二十日 十月十二日	四二二	二二
芝	九月二十日 十月十四日	六〇五	三一
深川	九月廿八日 十月十一日	五〇〇	一七
大塚	九月二十日 十月九日	五五	五
合計	—	二、二四九	一二七

右の外本聯盟事業に準じて開設せる野外學校に對し本聯盟より應援を與へ講師派遣並に學用品等を

寄贈せるものは國民教育奬勵會主催一箇所(上野)、交通道德會主催二箇所(上野、小石川植物園)、西本願寺主催一箇所(上野)、希望所主催二箇所(上野、新宿)、明治神宮天幕學校一箇所(明治神宮外苑)新宿御苑內少國民學校一箇所(新宿御苑內)、輪王寺コドモ學校一箇所(上野)等である以上の結果に基づき其後各小學校に於て之に準じ開設せるものも多かつた。

(二)震火災中に於ける美擧美談にして後世に傳へて龜鑑とするに足るものを集め國民教育の資料と爲すべく聯盟本部において目下材料募集中であるが此擧に對し大學生等の無報酬を以て奉仕せるもの五十餘名あるとのである。

(三)全國の少年少女より罹災地少年少女へ宛てたる慰問狀を募集し之を配布して慰問の一端と爲したが多數の送付があつた。

(四)巡回慰問隊を編成して罹災少年少女を慰問し又罹災少年の身上の相談を取扱ひ復興院其他へ十餘名の給仕を紹介した。

(五)今回の擧に對し各方面より多大の同情あり東京に於ける兒童教育關係名士數名は巡回講演部を組織して各野外少國民學校に巡回講話を爲し兒童を慰安し又各方面より金品の寄贈多かつたので夫々罹災少年少女に配布した。

(六)今回の事業の一切を報告し且後日の參考に資すべくパンフレツトを編纂中である。

(七)乳を求めて得られざる乳兒或は病人に對し亞米利加より來れるミルクを供給し又米國より來れる炊事車を曳いて一般勞働者に對し簡易なるライスカレーを作つて供給し猶ほ婦人子供の容易に電車に乘る能はざるものゝ爲めに本少年團員は之も米國より來れる「トラクター」に依て之を運び以て交通の便を計る仕事をもした。

好望なる少年團の現況　目下本聯盟に加入せる全國の少年團はその數約二百、團員三萬內外に達する事務所は文部省との交渉調ひ同省內の一室を借受ける事となり室內の設備中昨年九月初旬の震火災のために全燒して了つた此の火災の爲め豫定の仕事は暫く見合せ非常時の應急事業だけに從事して居たが漸次世間も平調に復したれば之から着々仕事を始めるさうだ來る二月十一日には少年團の宣誓式を擧行し又近く本聯盟の機關雜誌も發刊せらるべく且今春紐育に於て開會の萬國少年團聯盟會議の用務もあり幹部の役員諸君は昨今內外公私の事務に忙殺されて居るが

聯盟の前途は極めて好望であつて加盟團體は日一日益々其數を增加しつゝあるとの事である。

第一回萬國少年團代表者の會議が倫敦に開かれたのは大正九年である其時に今後二箇年毎に萬國會議を開催することを決議したが東京少年團の小柴博氏と北海道の下田豐松氏が同會議へ出席した又一昨年第二回目の會議を巴里で開いた時には現臺灣總督たる內田嘉吉氏が東京聯合少年團副總裁の資格を以て出席した來る四月頃には紐育で第三回目の萬國少年團聯盟會議が開設される筈になつて居る之れにも無論代表者を派遣する筈だが其の派遣される代表者はまだ確定して居らぬさうである。

支那勞働運動の趨勢

領事　八木元八

支那の如き勞働市場が常に無限の供給力を有して居る國に於でも資本主義による大規模なる各種企業の發達するに連れ早晩勞働問題は歐米及び日本に於けるが如く重要なる社會問題となるべしとは吾等支那研究者の夙に豫期せる所であつたが其時期は意外に早く來りつゝある感がする大正十一年三月香港で勃發せる支那海員の總同盟罷工は勞資兩方面に於ける陣容の見事なりしに其の戰鬪激烈にして相當犧牲者を出したると又その戰鬪が全然海員側の勝利に歸したる點に於て支那初期勞働運動史の第一頁を飾る劃時代的事件であつたと云へる此の勞働爭議に於て英國の船主、商人は勿論香港政廳まで資本家側は一致協力し當面の損失を考ゐ金力と權力を併用して支那船員同盟團體の組織を粉碎し禍根を將來に貽さざらんと努力し海員側は英人に對し反感を有する廣東政府及び南方派要人の間接助力を得て之れに對抗し非常なる惡戰苦鬪の後勞働者側は遂に能くその主張を貫徹し得たのである。

其後小罷工は各地に起つたが最も世人の耳目を牽いた罷工は昨年三月初旬起つた京漢鐵道從業員對

北洋軍閥の接戰である京漢鐵道職工の組合は支那に於ける勞働組合の最も大なるもので七百五十餘哩に渉る全線工夫の九割を會員とし居り二月一日鄭州に於て總工會を開く筈だつたのを吳佩孚が武力を以て之を禁遏した爲め京漢全線に渉る大罷工となつたのである此の爭議に對し吳佩孚は例の一徹から武力を用ゐて工夫を威壓し長辛店に於て三名の職工を銃殺し數十名のものに負傷せしめ漢口にては湖北工團法律顧問施洋氏を銃殺し其他各地に於ても武力干渉を行つて過激手段に訴へたから從業員側は遂に屈伏し慘めな敗北をなしたが此の數日に亘る罷工中北京大學の新人連及び議員の一派は旺んに聲援を與へ京綏、津浦、正太、隴海等各鐵道の從業員團體は應援の決議をなし上海に於ける各勞働組合も同情の通電を發するなど米國邊の罷工に見るアフリエート的なる各種團體の應援振を彷彿せしむるものがあつた其他昨年中に起つた勞働爭議で筆者の記憶に存するもの丈けでも漢口英人棉花工場職工の罷工、大冶鐵山從業員の罷工、京綏鐵道從業員の罷工宣言、景德鎮陶器工の罷工、撫順炭鑛工夫聯合會の成立その他拾餘の注目すべき事件があつた（是等罷工の記錄は集めあるも手許に見當らざるゆゑ詳細を識すを得ない）。

右の如き勞働爭議の頻發に顧み流石鈍感なる北京政府も晏如たる能はず昨年三月海外出稼人の事務を監理する僑務局の組織を改めて保工局とし各部所管の勞働問題に關する事務を統一して其の所管に歸せしめんとの議あり遂に閣議を通過したが故障出來中止さるゝに至りその代り各鐵道の勞働爭議を調査するため職工保育研究會なるものが交通部內に組織され委員長に權量氏、副委員長に馮懿深、洪彙の兩氏、委員には陸熊氏外十餘名の任命があつた又北京政府は京漢鐵道の罷工解決のとき議會に於て工場法を近く制定發布すべき旨約束したが其の約束を踏んで三月二十九日附農商部令第二二三號を以て暫定工廠通則二十八條を發布した右工廠通則は幼年工及び一般職工の利益保護を主眼として立案されたもので外國人工場もその支配を受くべき旨規定しあり條約違反の點少からず又之れを嚴格に實施するに於ては支那に於ける日本紡績工場は勢ひその大影響を受くべきも支那の常として該規定は未だに實施の模樣も見えぬ。

畢竟するに目下支那の勞働團體

は其の組織日淺きと材幹ある指導者を缺くを以て其力猶ほ甚だ微弱なるも最近の形勢を以てすれば彼等のオーガナイゼーションは日々に發達し既に階級鬪爭の烽火を擧げて資本家階級に對し脅威の度を加へたのは顯著なる事實である支那の國民性はその屬する團體の利害に就き強き敏感を持つて居るからレーボーアリーダーに取り最も都合好き特性を有し居る次第であるゴンパース氏が八十萬人の會員を有するフエデレーション・オブ・レーボーアの組織を完成するには二十五年の心血を注ぎ獻身的努力を要したのであるが支那には未だゴンパースやヒルコットは勿論日本の鈴木文治君に雁行する勞働運動者も無く纔に吳佩孚に殺された京漢鐵道罷工の犧牲者施洋氏の美しき未亡人が昨今喪服を纏ふて上海、北京の間に奔命し亡夫の仇を報ぜんと騷ぎ居る事實が勞働界のエピソードとして傳へられ居る位に過ぎざるも今後十年を出でずして相當の人材勞働界に入りて指導者となり勞資の階級鬪爭に油を注ぐもの今後益々頻出すべきは容易に想像され得る所である。

故に鐵道は勿論今や二百萬錘を以て數へらるゝ支那の紡績工場の如きは來るべき勞働問題に對し未雨綢繆の計を爲し置く必要がある米國自動車王フォードは大戰前に於て自己の工場に於て一週八弗以下の給料を受くる女工なきを誇りとし數萬の從業員優遇に就き種々の考案を實行し罷工頻出の時代に於て彼れの工場のみは超然として其の風潮外に置かれてあつたが資本家は勞資の協調に就いてフォードに學ぶ外はない此點に於て支那の本邦紡績工場の一が今回巡回治療の試みを思ひ立つた如き讚むべき態度であると思はれる。

圖書館と實社會との連絡

內地各府縣に於ける圖書館の概況

我邦の圖書館は近年急速の發展を遂げ其の館數に於ても閲覽人員に於ても非常なる增加を見たが然し社會事業の理想的見地から云ふと之を諸外國の夫れと比較しても尙大いに振興を期せねばならぬ必

要がある本文は東京其他において實施し居る圖書館と實社會との連絡方法にして頗る考究の價値あるものであるが目下最も適切なる施設として行はれて居るのは

一、巡回文庫の設置
二、各部落に閲覧所の設置
三、新刊購入圖書を通報する適切なる方法を採ること
四、新聞社、床屋、湯屋、其他多くの人の目に觸れ易きところに廣告を爲すこと
五、青年團、處女會等の公共團體と連絡して圖書の閲覧事務を進捗せしめ是等團體に仲介の勞を取らしむること
六、戸主會、青年團、其他各種の集會ある場合、館員は出來るだけ出張して圖書館の事に付き講演すること
七、圖書の購入に際しては各方面の意向を糺しその希望を容れて購入すること
八、各種の要求に應じて圖書の貸出を爲すこと
九、讀書界の傾向若くは時代の趨勢等に鑑み次の如く必要なる方法を購ずること
(1)思想善導の爲め思想問題に關する適當の書籍を成るべく購入すること
(2)比較的遲れて居る理科學方面及び産業に關する書籍を購入し之を備ひ付けて廣く一般を指導すること
(3)趣味の向上を圖る爲め文學美術に關する方面にもまた注意を向くること

等である更に具體的に各館の施設状況を述ぶれば次の如し。

東京市立日比谷圖書館にては時局に關する講習會を開催し時局に關する圖書の解題及び書目を刊行し增加圖書目錄の印刷竝にその連絡的無代頒布を爲し閲覧人の懇話會を開催し各種の學會及び官公私等の主催に係る講演會、展覧會等に會場を無償貸與し又調査係を特設し圖書に關する一般的質問に應答し更に圖書問答用箋の備付竝に頒布を爲し宣傳用印刷物を隨時刊行し圖書館の活動振り其他市内の名所舊蹟、大事件等に關する幻燈を製作し講演會其他の機會において公衆の參觀に供して居る。

東京市立本郷圖書館において實社會との連絡上現在執りつゝある施設方法としては讀書會を開催し圖書の内容を講演し智識の普及を圖ると同時に或は圖書の紹介を爲し或は閲覧人懇話會を開いて意志の疏通を計り更に盲人、老人、主婦等特別の事情ある者に限り便宜圖書の配達を爲し青年團と連絡を取り團員修養の便を圖り公衆の出入する場所（例へば區役所内の人民待合所、理髮店等）に新刊圖書目錄を備ひ付け區内要所に圖書館

案内の立札を建設し西班牙語研究會を開き移民希望者及び特志家の便を計つたりして居る。

埼玉縣勝良圖書館にては村内を九區に分つて部落講演を開き圖書講讀の必要及び圖書利用に關する講話を爲し時々圖書目錄を謄寫し區長、青年團、處女會、在郷軍人分會等の役員に配布し又各區内の掲示場に圖書目錄を掲示して閲覽者に便を與へて居る。

新潟縣加茂町養德文庫にては閲覽人懇話會を毎年一回、讀書會を毎月一回開き新着圖書は特設の掲示場に掲示し又それを養德文庫の栞（年四回）中に掲載して希望者に頒つて居る猶ほ青年會等の總會に際しては會場の一部に圖書新聞閲覽室を設けて自由に閲覽せしめ工場其他人の集合する場所に文庫を廻付し休憩、待合等の時間を利用して閲覽せしめ同文庫の有せざる專門書は縣立圖書館より毎月一回借り受けて研究者のために出來るだけの利便を圖つて居る。

山形縣谷地町圖書館にては町在住素人寫眞展覽會を年四回開催して衆人の觀覽に供し以て美的情操を養ひ猶ほ町内有志同好のもの毎月一回同館に集合して發句を提示し互ひに遠慮なく之が批評を爲し更に小學校兒童休憩時間を利用して童話會を開き小學校教員に其の指導監督を依賴して居る。

山口縣佐波郡華南圖書館における圖書購入の方法は各年度末において同館係員が地方の有志者、篤學者、研究家、實務家等より購入圖書の希望を徴して參考とし翌年度の購入圖書を決定し更に各種團體主催の講習會、展覽會、其他の會合に際しては同館より適當なる圖書を選擇して夫々閲覽の用に供し又は主催者の希望圖書を巡回文庫として提供しつゝある。

山口縣宮野圖書館における圖書の巡回發送は主として小學校兒童を介して之を行ひ別に床屋文庫を設けて村内の各理髮店を巡回せしめ特別文庫は村役場、各部落公會堂に置き希望者、有志者に對しては新刊にして且緊要の圖書を閲覽せしむる爲め巡回袋を發送巡回し學級文庫は小學校以外に青年補習學校等にも設けてある。

山口縣佐山圖書館にては縣文庫到着の都度並に購入又は寄贈の都度定期に藏書目錄を配布し更に縣立圖書館の巡回文庫廻付を受け別に部落巡回書庫を設置し猶ほ村民集會のとき圖書を開陳し役場吏員の參考書籍を購入し家事及び地方産業に關する書籍の募集に力め壯

丁のためにも之れが參考書籍の蒐集に盡し猶ほ村内書籍の散佚を防ぐ爲め寄贈を奨勵して居る。

石川縣圖書館にては教育、實業等の各種講習會、町村小學校、青年團、處女會等へ巡回書庫を發送する外、赤十字社篤志看護婦人會例會へも毎月婦人向きの書庫を發送し又實業家の特殊事項研究の爲め登館する者ある時は十分便宜を計り彼等をして圖書館の功能を實感せしむることに努め購入の新刊圖書は館所在地の四新聞に毎週一回之を登載し一般に周知せしめ猶ほ毎月縣教育會の雜誌に教育家參考書、青年用書、兒童用書の三部に分ち各適當の新刊圖書を紹介して閲讀者の利使に供し町村立圖書館等を設置する場合は依頼に應じて購入圖書を同館に於て選擇回答して居る今その各種巡回書庫を舉ぐれば定期書庫は郡役所宛て留置期間を六箇月とし郡内二箇所乃至十箇所に閲覧所を設置する書庫を回付するのであるが專用書庫は郡町村立圖書館中成績優良なるものに對し其の申出により書庫を回付するもので留置期間は三箇月である又臨時書庫の中には兒童に對する圖書として一郡内凡そ三校を指定し夏季冬季の休暇中に發送する小學校巡回書庫を一郡凡そ三箇所宛農閑期（十二月より翌年三月まで）に發送する青年團、處女會巡回書庫、一郡凡そ二工場に對し職工用圖書を回付し留置期間を二箇月とする工場巡回書庫、一郡凡そ二箇所づゝ一般讀物を回付し留置期間を二箇月とする寺院巡回書庫又希望申出に對し適當なる圖書を回付し留置期間を會期中とする講習會書庫とが設けてある。

宮城縣圖書館にては從來巡回文庫を縣下各郡全部へ其他郡部にある小學校或は青年會へ回付してあるので同館と學校關係者との連絡は堅いが更に一層實社會との連絡を取らんが爲め大正九年十月より市内理髪店十箇所を選び理髪店文庫を設け更に鹽釜、松島遊覧船及び三陸汽船會社の經營に係る鹽釜宮古間の汽船に對し汽船文庫十箇を設け次に仙臺市片倉製糸場寄宿舍女工約千名の爲め工場文庫を設け現に實施しつゝあるが其の成績何れも良好であるから大正十年度において該文庫數を增加し尚ほ勞働者の爲めに新たに文庫を開始する準備中であるさうだ。

鹿兒島縣圖書館には博物部が施設されてあつて實社會に必要なる理化學、衞生及び博物等の教育的標本、模型、機械等を蒐集陳列し

て一般公衆の觀覽に供すると共に此等の參考圖書名を掲示して研究に資し以て一般公衆と圖書館とを此の敎育的觀覽施設によつて接觸せしめ之が利用を奬勵し其の成績頗る顯著である且つ圖書館の利用方法並に情況を新聞雜誌等によつて報ずると共に新着圖書の紹介を爲し更に圖書館標語を作つて大いに圖書館宣傳に努めて居る。

新潟縣立圖書館が實社會との連絡上目下執りつゝある施設方法を擧ぐれば毎月一回讀書會を催したり時事に關する圖書の蒐集展覽を爲したり新潟市内に於て發行の三新聞を利用し毎週一回新着圖書の報告を爲したりする外讀書及び圖書館に關する記事を發表し創立記念講演會又は時々開催の講演會に對しては時事及び地力に適せる題目を選ぶ樣にし更に大正九年中各種中等學校長を聘し各學校に關する講演を請ひ入學志望の兒童並に父兄の參考に資し尚ほ此種の催しは毎年一回開催して居る又毎年一回館員、閲覽者相互の意志の疏通を計る爲め閲覽者懇談會を開き敎育及び學術の研究を旨とする團體には時々講義室を貸し講演會或は展覽會開催の便を與へ各郡市に於て産業共進會、敎育品展覽會等開催の場合には同館より會の目的に適應せる圖書を出陳し目錄を印刷して來觀者に配布し時々各種の選擇圖書目錄を編纂印刷して縣内に配布し各郡市より見學の爲め來れる生徒、兒童及び青年團員等の參觀を歡迎し繪葉書、栞等を贈り館長、司書は機會ある毎に郡市敎育會青年會、其他の會合に出席して讀書趣味の鼓吹及び圖書館利用の宣傳を爲して居るさうして展覽會講演會等の際は一般廣告の外に招待狀を發し各階級の人々の來觀を求め圖書館と實社會との接近を圖つて居る其の結果學生以外の閲覽者も漸次增加し且つ同館の事業に對し實質的の援助を爲す者も少くない猶ほ回覽文庫及び通俗敎育回覽文庫の名を以て一箱約三十冊入の文庫を請求に應じて本町村役場學校、圖書館、青年會等へは勿論婦人會、處女會、寺院、工場其他の團體に贈りて閲覽に供し又館長及び館員は時々地方に出張し回覽文庫等の利用情況を視察すると同時に各團體の集合に向つて成べく講演を爲し讀書趣味の鼓吹と圖書館の紹介とに勉めて居る。



英國大藏省の不意の增收と

英國富豪の學界に對する犧牲的貢獻を視よ

ドクトル、フイロソフイ　上田恭輔

棚から牡丹餅風の不意の僥倖のことをば英語ではWindfallsと言ふ。其ウキンドフォールスが先般英國の大藏省に發生したとかで英米の新聞界に頗る評判が高い。試みに何事であるかを調べて見るに、如何にも英國政府の國庫は全く思ひがけぬ近來にない大儲けをして居る。則ち昨年の暮に突然英國大藏省の手に相續稅として二千二百六十九圓といふ豫算外の臨時收入があつたのである。

詳説すれば、昨年九月十四日死去したサレー州のレッドヒルの富豪モーリス●マーカス氏の遺産が三百十四萬七千五百磅（ポンド）あつたので、百三十五萬四千ポンドの相續稅を納めて同氏の長男が遺産を相續したこと丶、今一ツは世界にその名の轟くロスチヤルド家の二男ナサニヱルチヤーレス●ロスチヤルド氏が昨秋十月十二日行年四十六歳を以て逝去せられたので、氏の未亡人が九百十五萬圓といふ莫大な相續稅を納めて家産を相續した爲である。

故ナサニヱル●チヤーレス氏はロスチヤイルド同

族會の一員であり、英國アライヤンス保險會社の總裁であつたが、若い時代から動植物學界に非常なる貢献をした人である。只に財力的援助のみでは無く氏自身が動物學の昆蟲學方面に於ては一かどのオソリーチーであつた。世界唯一の蚤のコレクションを始め殆ど地球上有りと有らゆる動物に寄生する各種の蚤を蒐めたものは此人である。北極の白熊に寄生して居つた蚤を生かして、それを倫敦に持つて來る爲めに何千圓を支出し、天下に名聲を轟かしたのは則ち此のロスチャイルド氏である。

同氏は餘程學究的の人物であつたと見ねて、同氏の遺產二百二十五萬ポンドの中、各方面の博物學會に寄附すべき金額が遺言狀の中に認めてあつた。家產は未亡人をして適當に處理せしむべしと明記しただけで、同氏の遺言狀の大半以上は自己の研究の後繼者と永年努力の結晶たる動植物の標本の合理的とに保持せられんことを指定したものであつた。同氏の遺言狀には劈頭第一において、

葬儀は質素を旨とし形式をさけ、儀式、行列及び祭文等は悉く之を省略せんことを囑望す

と明記してあつた。その學界に對する寄附並びに科學研究資料の處分法に就いては、氏の遺言中に次の通りに明細に指定してあつた。

一、內國昆蟲分布地圖並びに昆蟲所在地を記入し置きたる陸地測量部の地圖は死後封印のまゝ直ちに之れを燒却すること。外國昆蟲分布地圖譜は保存して差閊ねなし。

一、國立博物館に十萬圓を寄附す、此資金より生ずる利子を以て嚮に同館に寄附し置きたる蚤及び一般寄生蟲の蒐集を整理分類し之を保持する爲めに專門の管理人を雇聘すること。利息の收入にして維持費を支ね尙過剩の場合は同種の蒐集を繼續追加すること。

一、從來製作せしめ置きたる世界蝶屬圖譜一切を擧げて之を國立博物館に寄贈す、但し余の從弟をして斯道研究のため隨意に之れを使用する特典を保留せしめること。

一、自宅温室にあるウォラストン博士が南洋新ギニア群島より蒐集し來りし蘭花植物は悉く之を國立キュー植物園に寄贈す。

一、鱗翅屬動物の標本、世界鳥卵標本各百箱宛を敎育博物館に寄贈し而して其の殘餘は遺族の爲

めに保留すること。
一、天然景勝保存會に五百萬圓寄贈のこと。
一、ロンドン昆蟲學界に一萬圓寄贈のこと。
一、ウォラストン博士の研究費資金として十二萬五千圓を積立て置くこと。
一、トリング博物館長ドクトルジョーダンに研究資金として三萬圓を寄贈すること。
一、助手として自分の研究を助け來りしパート及ゲーナーの兩君に各一萬圓を贈ること。
一、從來自分の研究に對して主として盡力し呉れたるコックス氏に年額五千二百圓の收入を得べき相當の金額を別個に積立て置き余の研究事業を持續せしめんことを切望す。

右の外は悉く相續者たる未亡人の適當に處分せんことが明記してあつた。

少年法の目的と眞精神

京都少年審判所囑託　吉田春

少年を善導するため勅令として發布せられ實施せられた少年法なるものは未だその眞意が社會に徹底して居ない樣である。一體犯罪少年を一概に犯罪者として處罰する事が、果して本人の爲にも社會の爲にも效果を齎し得るや否や、それは疑問とする處であるが、徒に彼等を前科者たらしむるよりは、斯かる不良行爲をなすに至らしめたる各種の因由、卽ち環境、地位、事情に就て周密なる調査を遂げたる上適當の保護を加へ、更に善良なる少年として社會に活動せしむるに如かずといふのが、此の少年法の精神主眼とする處であつて、審判所なるものは彼等不良少年少女の保護處分を決定する爲に設けられたる特別裁判所である。從つて普通の裁判所內には幼年係といふものが設けてあつて、少年犯罪者の保護處分は刑事裁判の形式に依つて行はれて居るが、十四歲以上十八歲未滿の少年に對する保護處分は、凡て

少年裁判所で行ふことになつて居る。その審判の形式も普通裁判所のそれとは全然違つたものであつてその爲めに審判所といふのである。

少年審判所が不良少年少女及び犯罪少年に關する審判をするのは、審判所職權に依る場合と、通告卽ちその兩親又は後見人その他扶養の義務ある者からの通告に基くもので、言ひ換ゆれば、一般の通告と少年保護司の認知、警察官を通じて保護司への通知刑事裁判所豫審判事又は檢事よりの送致に依つて審判を開始する事になつて居る。そして少年審判所は訓戒、指導、啓發等を趣旨とするが故に、秘密審査の方法を理想として公開しない方針である。謂ふまでもなく、裁判所の審理は公平嚴正を旨とし、各人の自由權利を保證する趣旨に基いて裁判の審理及び判決は公開するを原則として居るか、少年審判所は少年の利益保護を圖るを以つて目的として居るから公平嚴正を缺く筈はない。公開するといふ事は、少年の自尊心を傷つけ名譽羞恥の念を消失せしめ、又は汚辱を與ふる事となつて、彼等をして精神的の苦痛を感せしめ、その結果、保護敎養上に重大なる惡影響を來し、それと同時に、一般の善良なる少年に對して恐るべき惡化を及ぼすことが決して尠くないのである。それが爲めに彼等の不良行爲や犯罪の内容に關しては秘密を嚴守して居るのであるが、然かし絕對に公開せぬのではなく、少年の保護改善に障害のないと認めた場合、その當該者たる少年の親族か若しくはまた少年保護事業に從事して居る者等には、時に傍聽を許可する事もある。

保護處分とはどうする事かといふと、その目的が犯罪少年の改善處分方法を決するのであるから、審判をするとすれば、期日を定めて保護者を呼び出し審判室で審判官か審判するのである。然しそれは審判官と當事者少年とが椅子に差向ひで極めて氣安く親切に、謂はば心易い先生や小父さんやが生徒や子供にものを尋ねるといつた樣な調子で、氣永に手の屆いた調べ方をするのである。その場合、少年保護司は少年の傍にあつて打解けた相談をするのであつて、保護司はこれ等少年少女の善良なる師友となり少年の境遇を改善し、常に適當なる訓戒指導を與へ萬事の相談相手となるのである。若夫れ審判の結果その少年少女の惡性が甚だしい時、又は全然改善の見込みのない樣なものには、刑事處分に依つて硬軟

育を施すに是れ努むるのである。

今日ではこの少年法がまだ一般に徹底せず、その眞精神も理解せられて居ないが爲めに、通告に止つて審判を開始するといふ事は殆ど稀であるが、世の父兄は愛兒のためにこの少年法の眞精神と審判官の行届いた審判振りとを理解して、矯正を要する少年少女に訓戒を加へ、その反省を促し、その前途に光明を認めさせ、善良なる人間として社會に活動せしむる様にしなければならぬ。それには此の少年法の眞精神を理解し、少年保護所又はその他に通告して愛兒の惡性を矯正せしむることは、決して社會に對して耻辱ではないのである。少年時代に泌み込んだ不良性は、双葉の時代に苅り取らなければなかく矯正し難いものであるから、社會に對する徒らな名譽とか家名とかに捉はれず、一刻も早く光明の道を辿るやうにしてやらなければ成らないのである。それは自家の幸福のためばかりでなく、また社會の爲めであり、國家の爲めであるから、父兄もこの點に留意して、愛兒の爲め決して最善の方法を講ずることを閑却してはならないのである。

苦力募集と僑工出洋條例

渡會貞輔

茲に少しく歐米人の苦力募集に關する一般狀況を述べて見たい。流石は緻密な頭腦の持主だけに、苦力募集に關する彼等の機關や設備は至れり盡せりで身體檢査なども可なりに嚴重を極め、採用人員は約その四分の一位を常としてゐる。恁くして採用された苦力は一定の場所に收容され、衣服及び食料の外に一枚づゝ毛布を給與され、尙ほ金屬製の番號札と契約證の寫をも交付され、而して全員の指紋を取り置き、犯罪や逃亡其他の參考に充てゝ居る。加之苦力に對する特別法を設けて仕事の能率を進め、同時に特種法庭を組織して專ら苦力の犯罪に關し審理を遂げることにして居る。輸送の當初は苦力に關する

一切の訴訟を普通裁判所で受理したが、何しろ苦力に關する瑣細なる事件を取扱つて居ては、第一普通裁判事務の澁滯を來たす虞があり、第二その苦力共が瑣細なる事件の爲めに裁判所に召喚され、裁判確定まで留置所に收容せられる結果働くことが出來ず使用者の不利益たる非常なものであつたので、使用者は苦力の犯罪に對して之を裁判所に訴ふることをせず、其場で使用者自ら之を笞打つて膺懲することにした。けれど此の私刑制度は遂に白人間の反對により幾何もなく禁止せられ、同時に前記特種苦力裁判所が新設され、そして苦力監督者たる白人が特に裁判官たる權能を附與せられて此の法廷の裁判官となり、鑛山區域各地方に於て毎日開廷された。尤も犯罪と云つても大部分は賭博と阿片に關するもので彼等は是が爲め金錢を浪費し身心を損傷し、其の結果勞働能率の低下を來し、延いて使用者の損失を招ぐやうになるので、使用者側が此の特別裁判法を設定したのも無理からぬことゝ思ふ。次に白人は指紋法の利用に就いて十二分の注意を拂ひ、苦力をして犯罪を遂行せしむるだけの餘裕を與へなかつた。前述の如く募集した苦力には身元證明書とも稱すべき金屬製の番號札を與へられるが、併し夫れを交換することは固く禁ぜられ、若し之を犯す場合は嚴罰に處せらるゝことになつて居る。數多い苦力の中には之を犯しながら番號札を瞞着して其の罪跡を晦まさうとする者があつたが、是等は指紋法の應用により容易に之を發見することが出來る。されば苦力を海外に輸送せんとする場合は、先づその募集地及び使用地において其の指紋を分類整理し、之を他日の用に供する必要があると言はれて居る。

歐洲戰爭の際、露國に於て募集した苦力の待遇が余り冷酷に過ぎたと言つて大問題を惹起した事があつた。當時露國政府は軍需品輸送、塹壕掘鑿等に使用するため、東清鐵道代辦のタショールを招工總辦に任じ、駐哈黑省交涉局員周冕と交涉して苦力一名に對し手數料百留を支拂ふべきことを契約したので周冕は吉長道尹柴維桐と結托し、苦力招募案なるものを作成し、外交部に向つて苦力募集の許可を申請したが、其の言分が單に伐木に從事するのみであつて他の工役に從事させないと言ふに在つた爲め、外交部は直ちに之を許可した。そこで周冕は長春に義成公司なるものを設立し、百方苦力の募集に盡力し

た結果、忽ちにして七萬人を得、之を十五組に分けて露國に送つたのである。處が見ると聞くとは大變な相違で、送られた苦力は常に軍の最前線に在つて使役され、萬一反抗した者は誰彼の容赦なく銃殺した爲め、苦力の不平遂に極點に達し、苦力頭趙藍坡は在露支那公使に苦力慘狀の實際を縷述し、同時に契約違反の不法を具訴した。一方長春に逃げ歸つた苦力等は周交涉員を相手取つて告訴を提起せんと敦圉いたので、同人は吃驚仰天して露領に逃込んでしまひ、そして一方北京政府に對して在露七萬人の苦力を救濟されんことを悃願した。今から考へれば是などは蓋し支那苦力の勞働爭議に關する最初の烽火であつたと思ふ。右の苦力募集に關し直接深甚なる影響を被つたものは滿鐵會社で、埠頭に働らいて居る比較的熟練なものまで午蒡拔きに引拔かれた爲め營業上少なからぬ差閊ゐを生じた許りでなく、供給不足に附込んで殘留の苦力までが賃銀値上げの要求を爲す樣になつた。されば當時の中村滿鐵總裁は白仁長官に向つて租借地內に於ける歐洲行苦力の募集を差止めて貰ひたいと申出でたが、都督府では邦人の事業に惡影響を及ぼさざる範圍に於て適宜之を取締るといふことになつて鳧が付いた。

却說滿洲苦力の募集に對し一新紀元を劃したものは彼の僑工出洋條例の出現である。支那苦力が歐洲戰爭の結果殆んど世界的に有名になつた關係もありそれに各方面における各種の工業が非常な勢で勃興した爲め、急速に苦力の需要を喚起し、此等苦力の海外に移出するもの漸く多きを加へ、其の結果、自國農村の大疲弊を來たし、延いて商工業の萎微衰退を招くやうになつたので、支那官憲は民國七年四月に僑工出洋條例なるものを公布し、苦力募集に對し大々的警戒を加ふるに至つた。僑工とは外國に雇傭される民國人の謂で、之を大別して(1)政府より撰拔さるゝ者、(2)直接應募する者、(3)募工承攬人の募集に應ずる者とし、應募苦力の資格は(一)年齡二十歲以上四十歲以下の者、(二)身體强健なるもの(三)傳染病なき者、(四)阿片を嗜好せざる者、(五)品行方正なる者と定め、直接應募する者に對しては(イ)應募國名及び地名、(ロ)應募の機關、(ハ)作業の種類等を詳記して僑工事務局に出願し、其の許可を受くる事にしたのである。一方募工承攬人(苦力募集請負者)は募工承攬人取締規則に依つて募集手

續を了し、僑工事務局の契約綱領に遵つて契約を結び、而して出洋（外國出稼）の際は必らず僑工事務局から護照の發給を受けることに定められた。それから出洋僑工は工賃の十分二以上を養家費として毎月北京國務院僑工事務局長の指定する銀行に預け入れ家族なき者は該銀行に貯金して契約期間滿了歸國後之れを受取ることに規定した。尙ほ僑工に要する通譯は僑工事務局の許可證を有する者たることを要し政府は僑工事務を辦理するが爲め必要ある場合は僑工事務局長より國務總理に申請して僑工所在地或は傭工地に駐在僑工委員を置く事も出來るし、また僑工所在地或は其の附近の公使館領事館員を以て兼任せしむることも出來るのである。以上は本條例の大要で、總べて十六個條から成立つて居るのであるが此の條例が出てから、滿洲來の苦力問題に關し種々面倒な事件が持上つたことは言ふ迄もない。當時は勿論現在においても支那政府は滿洲を外國と看做し前記僑工出洋條例を適用せんとしたなどは、寔に面白い現象と言はねばならぬ。一方二十一ヶ條問題で旅大租借の無效を主張しながら、他方に於て斯の如く旅大地方を外國と看做すなどは、要するに自家撞

着の最も甚しいものと言はねばならぬ。

曾て大正七年の夏、大連で工場地區の一部土地整理工事の爲め芝罘に於て領事の諒解を得たるうへ作業用苦力の募集を行つた折、支那官憲は專ら此の條例を楯に取つて拒否したので、取敢ねず領事の手を經て道尹に交涉したが埒明かず、結局北京政府の指揮を仰いだところ、滿洲も外國と同樣所定の税金一人につき大洋七元八毛を納付せしむるを要す、然らざれば滿洲への苦力移出は絕對に罷り成らぬといふ回答が來たので、當時の中村都督は其旨在支林公使を介し陸外交總長を通じて張督弁に通じ、滿洲出稼ぎの支那人にも僑工出洋條例を適用して、募集苦力に對し多額の税捐を納付させ、而して其の供給を制限するが如きは、第一需給の調節を失ひ賃金の暴騰を促すばかりでなく、勞働能率の低下を來たし、且つ爭奪戰等のため滿洲一體の事業界に及ぼす影響少からざるに依り、滿洲出稼苦力に對しては特に本條例の適用を除外して貰ふやうに交涉を開始した。處が相手が相手なので、此の交涉もさつぱり埒明かず數度折衝の結果、差當り手數料の輕減その他出來得る限り簡易の手續を實行せしむることに相談纏まり

一先づ爰に段落を告げたのであつた。

本問題に關し大正七年十二月四日の北京順天時報には大要下の如き記事が掲載されて居た『政府は曩に僑工條例を發布したが、是れ却つて人民の自由を束縛するもので、若し人民にして生計の法を立てる事が出來なかつたら人民は忽ち變じて土匪となるであらう。苦力一名に對し七元八毛の手數料を徵收することは甚だ酷な仕方で、之れが爲め從來每年十五萬人宛あつた出稼者は減じて二萬人となつて了つた近來滿洲の工業は異常なる發達を爲し、苦力の需要漸く盛んならんとするの折柄、政府は宜しく有害無益なる本條例の廢止を斷行すべきである。由來山東省に土匪の多いのは、一つは地方官の統治その宜しきを得ざると、他の一ッは人民生活の安定を得ざるに因るのである』云々と。正に頂門の一針と云ふべきであらう。實際我が滿洲は支那官憲の所謂外國とは趣を異にし、支那人等は旅劵や護照なく自由自在に旅大地方及び沿線へ移入することが出來るばかりでなく、山東苦力と滿洲とは古來歷史的に密接なる關係を有して居るから、妙な條例を作り、これに照して多額の手數料を徵するが如きは、全く不法の處置と言はねばならぬ。恐らく支那官憲に於ても此間の消息は十二分に知悉して居ただらうが、併し已に條例を公布した以上、今さら撤回することも出來ずそれに歐州戰爭以來數萬の苦力が英佛各國に渡航し意外の成功を歛めたので、支那當局でも之れに味を占め、かくは條例を制定して滿洲行苦力にも之を適用せんとしたに相違ないと推測される。兎も角芝罘及び其他の地方に於て支那官憲が滿洲及び朝鮮方面へ出稼きする苦力に對し常に干涉を加ふるは實際困つたもので、要は僑工出洋條例に抵觸せざる範圍に於て支那承攬人をして直接雇傭する形式を採らしめ苦力等をして隨意滿洲方面へ渡航させるやう仕向けるのが上策と考へられる。實際支那官憲が苦力の出稼に對し或種の壓迫を加へその移出を阻止する傾きあるは滿洲企業界の一大脅威である。

其後青島方面に於ける邦人企業の勃興に伴れ、芝罘附近の苦力は多く此の方面に吸收さるゝ風があつたので、僑工出洋條例と相待つて將來邦人が直接山東地方に於て公然苦力の募集を爲すことは甚だ困難なる事情が伏在する。眞僞の程は分らないが、何でも當時朝鮮に出稼した或る一人の苦力から『自分は

今日本人の口車に乘せられて悲慘な境遇を辿つて居る。工事は苛く、賃金は安く、芝罘に歸らんと欲するも日本人之を許さず、非常に困つてゐる、在郷の諸君は今後彼等の甘言に曳かされて移來してはならぬ』と言つて越した者があつたので、支那當局でも色眼鏡を以て之を眺め、苦力の募集を恰も誘拐さるるかの如く感じて居るしいから、苦力募集者は十分此點を考慮して萬遺漏なきを期することが肝要である。それに就て想ひ出すのは大正八年に例の撫順炭坑使用の苦力募集に際し支那側から色々な苦情が出た事である。當時僑工局督辦張弧から『撫順炭坑に於て苦募集の際は、豫め炭坑當事者から人數、募集地點及び實際撫順に於て使用すべきものたることを證明せる書類を添付し、撫順縣知事に申出で、奉天省長を經由して外交部及び僑工局に呈請し、同部局から募集地々方官に移牒する手續を執らせたい』といふ注文があつたといふ事だ。終りに附け加へて置きたいのは支那人の海外移民數で、營口商業會議所の調査に據ると、全體で六百三十萬人許り、一番多いのが緬甸、次が暹羅、英領印度といふ順序で、日本には一萬七千七百人ばかり居ることになつて居る一昨十一年末東京警視廳外事課の調査した處に據れば、管內居留の支那人は合計一千九百七十七人であつて、其內支那からの苦力組が七百三十七名を占め全部の約三割に當る勘定になる。

●一青年の社會事業

東京は上野の森の中に聖母の愛を表徴するマリア館と云ふ天幕張りの建物がある之が經營者は森山俊介君と云ふ一青年だ毎日お晝前には百人許りのバラックの子供が集まつて自由に繪本を見たり唱歌を歌つたり音樂を聞いたりしてゐる晝過ぎになると學校から歸つた七歲から十五歲までの兒童を集めて體操をやる遊戲をやるお話に日の暮れるのも忘れることもある此の親切な青年森山君はまだ帝大の社會學科に通ふてゐる人だ森山君は震災後バラックを中心に始められた兒童教化事業の數の多い割合に情味のある良いものが尠いのを慨して自ら此マリア館に陣取つて早大生の長崎三君と一緒に水入らずの思ひ切つた社會事業をやつてゐるので森山君は今後長く兒童教化事業に一身を獻げてゆくさうだが同君の曰く『私達の理想は世の中を良くするには斯う云ふ兒童からしつかりした身體と滑らかな心持を持つた人間を作り上げるより他に方法はあるまいと思ひますバラックの子と斯うして一緒に唱ふたり話したりしてゐますと彼等の中に尊い汚されぬいゝものを見出すので社會事業は之を育てて行かなければならぬと思ひます』と。

調査紹介

滿鐵會社の社會的施設（上）

＝滿鐵沿線附屬地其他に於ける各種の教育事業＝

高橋月南

滿鐵會社の社會的施設は大別して之れを社會全般に及ぼせる施設と社員に限定された施設とに分け得る。第一の社會全般に亙る施設は教育事業、市街經營及び衞生機關で、第二の社員に限つた施設は矢張り教育事業が重要なるもので、次に修養、衞生及び醫療、貯金及び金融、慰安及び娯樂、扶助及び救濟居住、日用品配給等である。玆に順序として先づ第一の社會一般に關する或る廣い意味においての教育施設について其の概要を紹介する。

教育施設　滿蒙開發、日支親善を如何に力説した處で、眞の諒解を得るには教育といふ種子を蒔かねばならぬ。それから收穫した果實が眞の開發となり眞の親善となるのである。滿鐵會社は創業早々巨額の經費を投じて教育事業に盡した結果今やその成績大いに見るべきものがある。會社が教育事業に着手したのは明治四十年十月で、先づ小學校を建設して日本人の兒童を教育し、一面公學堂を設けて支那人子弟の養成に努めたが、爾來沿線各地に設立された教育機關は多種多樣に亙り、現在では初等教育の小學校三十一（內分校場五）、實業補習學校三十三（內分教場一）、家政女學校十、幼稚園二十四、公學堂（支那人教育）十一、日語學堂一、中等教育としては奉天、鞍山、撫順の三中學校、奉天、長春、安東撫順の四女學校、長春の商業學校及び大連の南滿洲

工業學校等で、その外、支那人の中等教育としては奉天に南滿中學堂、營口に商業學校、撫順に鑛山學校、熊岳城及び公主嶺に農業學校等があり、それから專門教育に屬するものとしては、奉天における南滿醫學堂（日支人共學）、大連の南滿洲工業專門學校奉天の滿洲醫科大學の三校である。

以上の外、教育研究機關としての教育研究所あり社會教育に關しては圖書館一、通俗圖書館十八、巡回書庫貸付所百二十八に及ぶ。此の圖書館に就いては曩に本誌上において紹介して置いた。以上の教育機關は何れも會社の直接經營せるもので、その他沿線各地にある教育事業に會社より補助を與へ間接に事業の達成を圖つて居るものも尠くない。會社の教育事業を開始せる當時と現在とを比較せば、如何に事業が擴張され、如何に設備が整頓され、如何に兒童及び生徒が增加して居るか、蓋し驚くべきものがあらう。今其の發展の經過を示さう。

（一）幼兒保育　滿鐵沿線附屬地の小學校內に幼稚園を併設したのは明治四十二年三月であつた幼稚園は小學校入學前二年前の幼兒を收容して健全なる發育を圖るのが目的であつて、相當學識と經驗あるものを選んで保姆としてゐる。要するに幼兒の娛樂運動をなさしむるに過ぎないので有るから、最初幼兒運動場といふ名稱を用ゐて居つたが、大正十一年四月より幼稚園と改めたのである。目下開設中のものは、大連で北公園、日出町、沙河口の三箇所沿線では瓦房店、熊岳城、蓋平、大石橋、海城、鞍山、遼陽、奉天、奉天城內、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、長春、本溪湖、橋頭、鷄冠山、安東、撫順永安台の二十個所で、收容兒童數一千四百七十二名專任保姆二十四名である。此の外に他者の經營に係る大連伏見台及び營口の兩幼稚園に對しては相當の補助を與へてゐる。また地方有志者の經營に係るものに對しても設備を提供するか保姆を派遣するかして在滿幼兒の保育に力を注いでゐる。

（二）初等教育　去る明治四十年來、會社は鋭意教育機關の充實を圖つたが、殊に滿洲には義務教育制度がない爲め、會社は之が爲めに鐵道沿線平均二十哩の割合に小學校を建設した。斯くて沿線に於ける鐵道從業員も安んじて働くことが出來たのである。尋常高等を設置せる箇所は、本線に在つては瓦房店、熊岳城、大石橋、海城、鞍山、遼陽、奉天

鐵嶺、開原、昌圖、四平街、公主嶺、長春の十二箇所、支線に在りては撫順、永安台の二箇所、安奉線に在りては本溪湖、連山關、鷄冠山、安東の四箇所**外に吉林に一箇所である。尋常小學校の設けてある處は**橋頭、安東の二箇所と四洮線鄭家屯の一箇所とである。尙ほ分教場のある處は蓋平、煙台、蘇家屯范家屯と安奉線の鳳凰城の五箇所で、猶ほ大正九年四月一日より哈爾賓居留民會の委託に依り同地小學校の委任經營をなす事になつた。又營口に於ける兒童の教育は同地居留民團の設立した小學校に委託してある。これで會社が直接經營して居る現在の尋常高等小學校は二十一、尋常小校は五、計二十六校、分教場五であつて、就學兒童數は總計一萬〇二百七十五名、この學級數二百四十九、教員數三百十三名委託兒童數二十六名といふ數である。

日本人の教育觀念が其後段々進んで來て、今や學齡に達して就學しないものは一人もなく、小學校卒業後、男子は中學校に、女子は女學校に進み、その入學し能はざるものは高等小學校に入り、更にその卒業生は補習學校或は家政女學校に入學する等、一般に向學心が發達し來つたことは喜ぶべき現象である。尙ほ會社は所在地外の兒童通學に對して無賃乘車を許し、その他兒童寄宿舍を設けて就學兒童の便を計つてゐる。現在寄宿舍を設けてある處は瓦房店**奉天、四平街、鷄冠山の四箇所で、**寄宿生は四十四名、此外私人經營のもので會社より補助監督せるものの長春、本溪湖、哈爾賓の三箇所がある。

今開校當初たる明治四十年度末の現在數を見るに小學校五、兒童數二六二、教員數一四、この經常費が五・七五〇圓餘に過ぎなかつたが、翌四十一年度末に至り校數九、兒童數六四五、教員數二四、經常費一六・〇〇一圓餘に達し、爾來年を逐ふて發展し明治四十五年三月末には校數一六、兒童數一・七〇二、教員數七二、經常費實に六一・九一二圓餘に膨脹した。過去十箇年間の統計を示せば

年次	學校數	兒童數	教員數	經常費
大正三年三月末	一七	二、六一八	九二	一八二、三一四、七一〇
同　四年三月末	一七	三、〇八三	一〇一	一九八、四九六、七四〇
同　五年三月末	一八	三、四五〇	一〇一	二〇七、七四二、一〇〇
同　六年三月末	一八	三、九六九	一〇九	二二一、六四三、一三〇
同　七年三月末	二〇	五、三四〇	一四八	一八九、四一五、一〇一
同　八年三月末	二〇	六、九一三	一九二	二六〇、〇三三、〇〇〇
同　九年三月末	二五	七、八二二	二三一	五一九、三五〇、〇〇〇

同　十年三月末	二六	八、四四五	二六三	三九七、五九五、〇〇〇
同十一年三月末	二六	九、一一一	二七〇	六三五、五七九、六七〇
同十二年三月末	二八	九、五五九	二八八	調　査　中

(三)支那人初等教育

滿鐵會社は日支親善の契子を養成するの意味を以て支那人教育を大要左の三種に分って施行してゐる。

一、土着人教育——公學堂初級（初等小學校程度）
二、人材の教育——公學堂高級（高等小學校程度）
三、日語の教育——日語學堂（日語普及が目的）

會社がこの支那人教育を開始したのは明治四十三年で、當時は公學堂一校、學生數も僅か三十一名に過ぎなかつたが、滿蒙開發の大使命を果すには此種教育機關の必要なることは言ふ迄もないので、爾後年々沿線各地に學堂の設置をなして支那人の子弟教育を圖つた。大正十二年四月迄には瓦房店を始め松樹、熊岳城、蓋平、遼陽、奉天、開原、四平街、公主嶺、長春、撫順の十一箇所に設置され、その兒童數も實に二千四百八十九名の多數に上つた。以上は會社直營であるが、その他の經營に係る支那人教育事業に對しては教員の派遣又は經費の補助をなしつゝありて、それは海城の東語々學舍、鞍山の公學堂遼陽の日語學校、奉天の外國語學校、吉林の中日言語學校、安東の中日懇親學堂の六校である。また遼陽支那官憲の希望に依り城内の中國側小學校に日本語の教員一名を派遣してゐる。猶ほ明治四十五年鐵嶺に日語學堂を開始して、日支人の融和、人文の啓導に努め來つたが、現在にては生徒數六十三、學級數三、教員六名に上つてゐる。大正十二年三月末に於ける各地公學堂の兒童數左の如し。

瓦房店	一六三	松　樹	九三	熊岳城	一四九
蓋　平	二三三	遼　陽	一〇一	奉　天	一六二
開　原	二三三	四平街	一九五	長　春	二二四
撫　順	九八	公主嶺	一三六	合　計	一、七七七

本表には別科補習科の生徒數を含まず

(四)朝鮮人教育

朝鮮人の滿洲に移住するもの年々增加し、是等鮮人に對する教育機關の必要も大いに之あるので、會社は大正六年五月鐵嶺に先づ育英學校を開設し、次に同九年二月奉天に普通學校を設置し、續いて十年七月に陶鹿に東山學校を設け、翌十一年九月には長春に扶餘學校を設立した斯くの如くにして滿鐵は朝鮮人の子弟教育に就いても漸次步を進めてゐる。大正十二年四月末現在の各學校の生徒、學級、教員數は左の如くである。倘ほ

會社が補助を與へ又は設備貸與等の間接手段にて指導して居るものは澤山ある。

奉天普通學校	生徒數	二四六	學級數	七	教員數	八
鐵嶺育英學校	同	一〇一	同	四	同	七
長春扶餘學校	同	三	同	一	同	二
附屬東山學校	同	五六	同	一	同	二

(五)實業補習教育

以上の普通教育機關充實と共に特種教育にも努めて居る。それは沿線各地の發展に伴ひ、商工業に從事する日本人の青少年が逐年增加したが、沿線には是等の青少年に對して誘掖輔導の設備がない爲め、徒らに新開地氣分に流れ、浮華輕佻に走らしめ、遂に終生を誤るものが多いので、滿鐵當事者はその内に自社の從事員も含まれ居る事とて、明治四十三年以來沿線各地に實業補習學校を設置し、彼等の實務と密接なる關係を有する實用的一般常識の修養と奢侈の念を去り眞摯着實にして獨立自營と自彊自尊の精神とを涵養する目的を以て其の教育に當つてゐる。最初は校數僅に十一校に過ぎなかつたが、大正十二年四月末には三十三校に達し、その生徒數三千四百五十九名、延人員四千三百四十三名の多數に上つた。是等の生徒は附屬地居住の青少年でそのうち滿鐵の從事員及び商店員等が殆んどその半數を占めて居る。

(六)女子教育

小學校を卒業した女子教育は高等女學校に進むべきが順序であるが、經費其他の關係でさう出來ぬものもあるので、滿鐵會社では日本婦人としての品性の涵養と日常生活に必要なる智識技藝を補修するの目的を以て大正二年度家政女學校を沿線各地に設置した。これは男子に對する實業補習學校同樣の形式を執つたものであるが、年々女子が增加し、斯る補習的學校では滿足することが出來ず、高等女學校に入學を希望する者が多くなつた爲め、會社は高等女學制に基き大正九年奉天に女學校を設け、四月より開校した。越ゐて十一年四月撫順に翌十二年四月長春と安東の兩所に於て開校した。かくて滿洲に於ける女子教育機關の缺陷は補はれた。以上各高女の現在生徒數は、

	修業年限	生徒數	學級數	教員數
奉天高女校	五箇年	三〇二	七	一三
撫順高女校	三箇年	一七三	五	一四
長春高女校	五箇年	四五	一	九
安東高女校	五箇年	四八	一	六

以上の生徒數中、奉天は未だ五年生なく、撫順は

二年迄と專修科の生徒であつて、長春、安東の兩校は昨年開校したのみで共に一年生である。

（七）中等教育　從來滿洲に於ける中等教育は關東廳に於て旅順に唯一箇の中學校を有するに過ぎなかつたが、年々小學校を卒業する多數の生徒を一中學校に收容し能はざるは明白なるを以て、その後大連に一中學校を增設し、大連市內の志望者は大連に、滿鐵沿線よりの志望者は旅順に收容することになつた。右は關東廳施設の中等教育機關であるが滿鐵會社では大正八年四月奉天に中等教育機關を設け、沿線附屬地の人口增加に伴ひ、大正十二年四月には鞍山、撫順の兩所にも開校した。この三校の生徒及び教員數を見るに、奉中は四百六十名の十七名鞍山は五十名の十名、撫中は五十名の十一名で、鞍山、撫順は猶は一年生のみである。

（八）實業教育　（**南滿洲工業學校**）會社は前記の教育施設以外、本校を明治四十四年大連伏見臺に設置して、南滿洲には勿論、支那內地に向つても工業的智識を有する有爲の青年を養成輩出せしめて工業界の發達に貢獻した。今や同校の設備は完成し理論と技術の兩面に亙つて教育してゐる。大正十一年に昇格して南滿工業專門學校となつたので將來はこの中學程度の教育は廢止する事になつてゐる。尙ほ同校內に修業年限二箇年の職業教育部を大正七年五月より併置し、職業技術の實際的訓練を施し、專ら徒弟の實習的教授をなしてゐる。

（**長春商業學校**）甲種程度の商業教育機關で、大正九年四の月創立であるが、長春は日支露三國の緩衝地帶で、滿蒙の商界に活動する青年を養成するには地の利を得てゐる。現在は生徒數二百二十七名、教員數二十名で、四學年迄である。

（九）支那人中等教育　支那人に對する初等教育は前記の通り沿線十一箇所に公學堂を設立して兒童の教養に竭してゐるが、元來滿洲における支那人教育機關は頗る不完全なので、滿鐵會社では多大の犧牲を拂つて之が施設に努めて居る。現在沿線各地における支那人の中等學校は六校あつて、生徒數も逐年增加し、何れも相當の成績を擧げてゐる今この六校の現況を見るに

▲**營口商業學校**　大正二年七月開設、修業年限豫科一年、本科三年、研究科一年で、中等商業教育を施してゐる。生徒一六六、教員一〇

▲南滿中學堂　大正五年三月奉天に開校、中學科及び南滿醫學堂豫科を併置し、教科書は日支兩中等學校創立によつて編成されてある、修業年限五箇年、生徒數二四六、教員一九

▲遼陽商業學校　大正十一年四月開校、入學資格は國民學校卒業程度で、簡易なる商業教育を施してゐる。二學年迄で、生徒數一三一、教員八

▲撫順鑛山學校　大正十年四月開校、撫順炭坑のある爲め、關係支那人の子弟に對し簡易なる鑛業上の智識技能を授けてゐる、二學年迄で、生徒數七四、修業年限三箇年

▲熊岳城農學校　大正十二年四月の開校で、修業年限は四箇年、最簡易なる職業教育を施してゐる生徒數は三〇、教員數は九

▲公主嶺農學校　前校と同時に開校、修業年限、教育程度同一。生徒數三六、教員數七

(十)專門教育

(南滿醫學堂)滿鐵會社は明治四十四年六月日支兩國人の爲め奉天に醫學堂を設けた。現在學生は百九十四名(其内支那人學生八十一名)、職員は堂長以下二十九名(内支那人二、外國人一)、外に兼務講師十五名ある。尙ほ會社は時代の趨勢に鑑み優良なる醫師養成の必要を認め、大正十二年五月本校を醫科大學に昇格せしめた。現在職員は學長以下十四名、學生數百四十二名で、其のうち支那人百三十八名の多數を占めて居る。尙ほ同大學が完全に生徒數を收容すれば、大學豫科二四〇、本科三二〇、大學別科一六〇、附屬豫備科四〇〇であつて、現に次第に進歩しつゝある。

(南滿洲工業專門學校)大正十一年二月創設、專門學校令によつて工業に必要なる高等の學理竝びに技術を教授し、併せて人格の陶冶に勗むるを目的とし修業年限三箇年、定員三百名であるが、現在の學生は百十八名、教員數は校長以下四十五名で、大連伏見臺南滿工業學校内に設置されてある。

(十一)社會教育

(圖書館)社會教育の一端として明治四十三年十一月滿鐵沿線各地に通俗圖書館を開設し、新聞雜誌竝びに各種の圖書を備ね付け社員及び一般在住者の閲覽に供した。圖書館を設置した箇所は大連を始め沿線主要地十八箇所で、常備圖書以外に巡廻書庫を設けて之れを各圖書館に送り一定期間一般者に閲覽せしめ、又圖書館の設置なき中間驛には巡廻書庫の小箱を作製して廻付し、地方

に於ける讀書趣味の開發と向上とに努めて居る。此の圖書館のことに就いては既に前々號に詳しく紹介したから玆には繰返して記さず、唯だ滿鐵會社が學校教育の外に圖書館及び巡回書庫等を設けて社會教育の上にも盡してゐることを記して置く。

(講演及び講習會)尙ほ社會教育の達成を圖らんが爲め、會社は隨時內外人の名士を招聘して沿線各地に講演會及び講習會を開催し、社員及び一般者の便宜と利益と之が教化に盡してゐる。

(教育研究所)大正二年設置、甲乙二科に分ち、甲科にありては小學校本科生教員又は中等教員の資格を有する會社所屬の日本人教職員中より入所者を選び、滿一箇年支那語、支那事情及び日本語教授法を講習す。乙科は支那人の小學教員たる資格を有する者に日本語及び各科教授法の講習をなさしむるもので、初め教育講習所と稱したが、時勢の進步と邦人の發展とは益々優良なる教員を必要とするに處から、この講習所を大正四年研究所と改稱し、その講習科目を增加し、滿洲に於ける教員として十分資格を備へたものを養成せんと努めて居る。今日までに同所を卒業せる者は約二百五十名に上つた。

滿鐵會社が以上の如く諸種の教育事業を起し、教育施設を整へ、在滿日支人の爲め盡してゐるは多とすべく、その經費も莫大なもので、明治四十年度は僅か四千五百餘圓に過ぎなかつたのが、大正四年度には四萬九萬五千四百餘圓に上り、實に百倍の激增を示し、大正十年度には四年度の約四倍の百八十五萬八千六百餘圓といふ巨額に達した。斯くの如き經費の膨脹を見ても此間の著しき進步と會社の努力の尋常ならざるを推知し得る事であらう。市街經營及び衞生施設の如きも滿鐵附帶事業として國家的使命の下に行ひつゝあるものだが、本項に關する紹介は之を省略し、この次に社員その他に對する社會施設の一班を紹介しよう。因に滿鐵は更に教員養成のために師範學校を設けることに決し、大連に之を置き教育研究部をそれに充てる事になつた。



赤十字大連支部の少年團は金州に設けられる

旅順及び大連の少年團

赤十字大連支部の少年團は金州に設けられるとか

後藤少年團日本聯盟總裁曰く『少年團は世界の一大倫理運動である。つまり少年團は學校敎育その他少年敎育施設の擴充であつて、少年の生活を純化し良化し、そして有爲なる公民たるの資質を得せしめ進んで社會共存の理法に對する公精神を涵養するに在る。その訓練は、少年期に特有なる敎育受能性を利用し、觀察推理の練習や、手工技能等の練磨を主眼として、之れを少年の好める遊戲や競技に仕組み力めて自然に親ましめる爲め、野外や水上の生活を奬勵し、內に在つては能く家事を助け、出でては能く社會公共の事に奉仕し、他を助くるの實力を練り他人を尊重すると共に、自立の精神を養はしむるにある。されば此の訓練を受けたる少年は、平時に於ては勿論、一朝事ある時に際しては、自己の處置を誤らざる機敏と膽力とを具へ、更らに老幼婦女の危急を救ひ、社會百般の出來事に對し、臨機の行動を爲し得る所謂『準備ある人』たるを得るのである』と之れはよく少年團の必要とその本質內容と又その效果とを簡明にいひ表はしてゐる。

從來兒童に對する敎育といへば、學校敎育がその全體であるが如く考へるものが多く、學校敎育以外には僅に家庭敎育がある位のものであつた。然し兒童の敎育は常に學校敎育や家庭敎育のみに信賴することは出來ない。寧ろ學校と家庭との中間にある處の社會なるものは實に無言の感化力を持ち、また無言の影響を與へるものであるが、この絕大なる力に對して、以上の二敎育は今日のところ全く沒交涉である。此の缺陷を補ひ、學校敎育と家庭敎育との中間に立ち、相助け、相補ひ、以て之を全うせしむる社會的施設が無くてはならない。こゝに卽ち少年團なるものが設立企劃された次第である。

滿洲でこの少年團の組織に第一聲を擧げたのは旅順市であつて次は大連市である。何れ滿洲沿線にも夫々計畫されてゆく事であらうと思ふが、本年內に

は満洲に三四の少年團が組織されるだらう。今左に旅順及び大連の少年團に就て記さう。

旅順少年團

旅順には學校とその生徒の數も尠ないので、總べての準備が迅速に運ばれ、一月二十六日の東宮殿下御成婚の祝日を期して、愈々開團式を擧げることになつた。過日來入團の少年を募つて居つたが既に二百七八十名の名數に達したさうだ。この入團者の資格は十一歳から十六歳までの日本男子で、保護者の了解を經て入團せしむる事とし旅順民政署の學務課で一切を取扱つてゐる。十六歳の少年となれば、中學校の一二年級まで及ぶが、今回は單に小學校の生徒のみの希望者を募集したに過ぎない。中にはこの少年團の趣旨を充分に了解しない保護者もあるさうだが、大體に於ては賛成で、その了解し得ないものは經費の點を懸念して居るとの事である。主催者は出來るだけ經費を掛けず、そして實績を擧げるやうに努め、服裝の如きも輕裝を主とする事にしたさうだ。旅順の少年は殆んど皆洋服を着て居るから、此際少年團としての服裝を統一しなくとも何等支障を感じないが、唯だ統率者の服裝が餘り亂雜に流れては、兒童に對する感化上何うかと考慮されて居る。或は近い中に何等かの形式を採るやうになるかも知れない。又團體の編成は四名を以て一箇分隊とし、この二箇分隊を以て一箇小隊となし、三箇小隊を以て一箇中隊を編成し、全中隊を一團隊とするのであつて、各隊には隊長を置いて統率せしめ、團長には差當り西山民政署長を戴くことになつた。同少年團の綱領、守規、團則等は左の通りであるが、尚ほ團體として如何なる規則の許に教練をなすべきか就いては、長島視學が內地における少年團視察の爲め出張中であるから、その歸り次第何れ精細に決定されることであらう。

綱領

一、勅語の御趣旨を奉戴し君國に盡すべし
二、凡ての人に親切なるべし
三、心身を強くし堅く守規を守るべし

守規

一、忠節を盡すを本分とす
二、禮義を正しくし父母長上の命を堅く守る
三、勇敢にして常に弱者を助ける
四、言葉や態度を愼み相手に愉快を感せさす
五、生き物を愛し不必要なる殺生をせず

六、誠を語り言ふたことは必ず行ふ
七、よく働き質素倹約を旨とする
八、もの事に辛抱強く義務を忠實に果す
九、常にニコ〳〵として仕事に當り善いと信じたことは如何なる困難をも排してする
十、心を清くし厚く神佛を敬ふ

團則

第一條　本團は綱領の趣旨を體し專ら體驗によりて教育し少年をして健全且つ有爲の國民たらしむるを以て目的とす

第二條　本團は旅順少年團と稱し事務所を旅順民政署内に置く

第三條　本團は第一條の目的を達成せんがため左の事項を行ふ

一、毎月二回（第一及び第三日曜）適當の場所に集り次の事項を行ふ
（イ）皇居遥拝　（ロ）綱領及び守規朗讀
（ハ）團長訓話　（ニ）作業（別に定むる課程表）
（ホ）團歌高唱
二、綱領及び守規の實踐
三、見學行軍
四、講演會
五、競技敎練

第四條　本團は旅順に在住する十一年以上十六年未滿の日本男子にして本團の主旨に賛し保護者の了解を經て入團したる者を以て組織す

第五條　本團の團則は左の通り定む
分隊　四名を以て一箇分隊とし團員中につき團長の命ぜし分隊長之を統率す
小隊　二箇分隊を以て一箇小隊を編成し指導者之が隊長となりて統率す
中隊　三箇小隊を以て一箇中隊を編成し指導者之が隊長となりて統率す
團隊　全中隊を以て團體とし團長自ら之れを統率するものとす

第六條　本團員は左の通り携帶すべし
（一）團　帽　（二）團杖　（三）團綱（四）ナイフ
（五）團員手帖　（六）呼子笛

第七條　本團には左の役員を置く、役員は總べて名譽職とす
（一）團長　一　名　（二）副團長　若干名
（三）幹事　若干名　（四）指導者　若干名

第八條　團長には民政署長を推戴し副團長、幹事及び指導者は團長之を委囑す

第九條　團長は團務を總理す副團長は團長を輔佐し團長事故ある時は其職務を代理す
幹事は團長の指揮を承け團務に從事す
指導者は團長の指揮を承け而して團員の直接指導に從事す

第十條　本團には第七條の役員の外顧問及び贊助員を置くことを得
第十一條　本團の經費は團員よりの醵金と有志者の寄附金を以て之に充つ
第十二條　本則施行に關し必要なる規程は團長において之れを定む

團歌

一、東海日出でゝ波濤うつところ　邦あり日本我等の祖國
皇統連綿榮ゆに榮ゆ　世界に類なき祖國の歴史
二、我等は日本の少年男兒　國家の安危は我等にかゝる
未來の歴史を記さむ筆に　愈々飾る祖國の名譽
三、祖先の勇氣と忠義の血潮　我等の胸にもひさしく流る
祖先の護れる皇國の御稜威　世界に示さむ時こそ來れ
四、大なる使命は我等に下る　凡ての國より秀でし力
凡ての國より秀でし智慧を　養ひ磨くはわれ等の任務
五、我等は帝國少年男兒　我等は祖國を擔ひて立てり
榮譽の象徴の日の丸の旗　かゝげて進まむ凡ての途に

大連少年團　大連に於ける少年團は大連奬學會の社會係に於て計畫され、團規、主義綱領、其他細則の起草を終り、田中民政署長の手許にて修正をなし、その修正を終つた後、再三會の協議會を開いて、愈々發表の段取となり、東宮殿下御成婚の祝日を記念して完成された。旅順は當日を以て開團式を擧行する事になつたが、大連では學校數も生徒數も三四倍に達し、これを如何に收拾するかが問題であり、殊に後二箇月を以て新學期開始され、學童の異動も激しいから、新學期の開始を待つて團員の募集をした方が好からうとの意嚮である。從つて開團式の如きは五月になるであらう。入團者の資格は尋常四年生から中學校の一年生までで、年齡は十二歲から十六歲までのものとし、大體三年制度で、最初は年齡學級に從つて二年生となし、明年に至つて三年制に入る筈である。團體の訓練、作業等は他の少年團と何等異なる處がないが、大連は滿洲に於ける大都會で、他の少年團に比較し實際的訓練を要することが多く、また團員に於ても社會的影響を蒙る機會が頻繁であるから、指導者に於ても一段の苦心を要することであらうと推想される。さるにても赤十字大連支部で企劃中の少年團は何うしたのである乎或者は立消えになるだらうと言つたが、聞くところに據れば、金州に赤十字少年團を設ける事になつたと云ふことだ。赤十字事業の振はざるや久し、此際赤十字社も平時の社會事業に努め、滿洲の委員部及び支部も今少し活潑に働いて欲しい。

漸く出來上つた大連保健浴場

今日までの經緯と苦心談とその內容とに就いて

大連に於ける文化施設の一として數へられる大連保健浴場は一月二十六日の御成婚の祝日を期して開所の式を擧げた。回顧せば隨分長い間の計畫であつたが、この資金寄附者は株式商品取引所の理事森上高明氏で、八九年前大連市內に猩紅熱が流行して幾多の死亡者を出し、殊にこの死亡者中にはまだ年若い少年少女が多く、而もこの傳染系統を取調べて見ると何れも小學校であることが解つたので、級中に一名の患者が發生すると、此の級が全部幾日かの休業をなし、その豫防に努めたけれども何等の效果を擧げ得なかつた。爾來學校衞生に就いては硏究に硏究を重ね、暖房の如きも經費を顧みず全部スチーム裝置に改造する等、その防止に努めた結果、今日では醫術の進步と共に左して恐るべき病氣でないやうになつたが、一時はこの猩紅熱が兒童者間に恰も惡魔のやうに恐怖されたものである。

この病氣の流行は丁度冬期間であつた。滿洲の冬は兒童に取つても籠居時代で、屋外の運動は絕對不可能となり、終日家の中で遊び廻る關係上、兒童の健康を損ふことが多い。そこで猩紅熱の傳染するのも這うした缺陷からであると云ふことが醫師間の問題となつた。斯くして永らく大連市に保管されてあつた森上氏の寄附金金拾萬圓也が社會施設の一たる保健浴場に利用される事になつたのである。當時の大連民政署長であつた大內丑之助氏は滿鐵病院長であつた阿西博士を委員長として市內有力者と協議の結果、保健浴場を建設することに決し、幾度か議を重ねたが、十萬圓では足らぬといふ經費問題に支配されて實行するに至らなかつた。其中責任者の交迭變遷等があつて益々實施されなかつた。併し同寄附金は財團法人の手續に依つて保管され、阿西院長去つた後、今の尾見院長がその理事長となつて一切を支配し、殊に尾見氏は洋行のとき歐洲に於ける保健浴場の視察をした關係もあるので、歸朝後設計に幾分變更を加へ、その計畫は益々理想的に出來上つたが、如何せん其の設計、設備には十五六萬圓の費用

を要すると、それに歐洲大戰爭の餘波を受けて建築費が意外に嵩むので、暫く延期することになつた。然し何時までも延期して寄附者の意志を沒却することも出來ないので節約に節約をなして愈々工事に着手したのは大正十年の夏であつた。

建築は何うにか竣工したが、獨逸に注文した機械が到着しないので、十一年下半期は殆んど遊んで居つた樣なものである。昨年機械が着いたので、イザ受取らうとすると、その金員の出納を委任されてゐた民政署會計係の遣ひ込みが發見され、之がために又一頓挫を來たし、斯うして漸く試運轉の處まで漕ぎつけたのは本年一月の始めであつた。此くの如く非常に行惱んだ保健浴場も今や堂々と西公園内に開設されるに至つたが、之れまで幾多の難問題と戰つて來た尾見理事長はホッとした顏付きで『保健浴場問題には長い間頭を痛めた。併し市内多數の有志者と民政署當事者等の熱心なる同情とによつて、曲りなりにも目出度い御成婚の祝日を期して開所し得たことは、最初の寄附者森上氏にもまた一般市民にも漸く申譯が立つた次第で、全く重荷を下した心地がする。唯だ向後の經營に就いては、多忙の自分等には到底堪ゐ得られない事であれば、此儘大連市に移管することになつて居る。從つて從來の財團法人も解散の手續き中で近日中發表されることであらう尚ほ後の經營に就ては市當事者に於て夫々研究中であるが、經常費の大部分は燃料炭で、これは滿鐵に話して特別割引を以て供給することになつて居るから、經營方法の如何によつてはその維持も恐らく太した心配はあるまいと思ふ』と語つた。

尚ほ市役所の伊佐助役は曰く『貧乏世帶の大連市が保健浴場を引受けるのは、或は當を得ないかも知れないが、市は凡ゆる社會的施設に向つて計畫を樹て、既に公設市場及び苦力收容所等の施設をなす事になつたので、それと相持つて保健浴場をも引受ける事になつたのである。例の三萬圓の消費事件も何うにか片付いたから、市も遂に引受けることになつたのであるが、今後の經營については大いに苦心を要することゝ覺悟してゐる。入浴者に制限を加ふるのは理想的でないが、經費の捻出上已むを得ないことで、會員組織として入會者には入浴の回數劵を發行することにする方針である。同浴場に附屬した副業的なことは未だ考慮して居ない』と。

この保健浴場の構造を見るに、入口玄關には大理石にて築き上げた噴水があつて、左方入口の廣間は白タイルを敷き占めた脱衣場に當てられ、次は便所で、突き當つた處に砂湯がある。この隣室は小形の普通の浴室であるが全部白タイルが張られてあるので氣持ちが好い。中央が一大浴場で一時に數十人這入ることが出來る。碧水漫々と湛ゐて見るから爽快である。尙ほ玄關を右に入ればそこには便所と控室とがある。控室は兒童の遊び場か或は雜誌新聞の閲覧室かに當てるらしい。二階には砂場を設けて思ふまゝ日光浴が出來るやうになつて居る、これに土俵でも造れば兒童は一層喜ぶことであらう。三階は屋根裏になるが一寸した休憩室位にはなる。それに浴場の上が又廣間になつてゐるから玉臺の二三臺は据ゐられる。何れ内部の設備に就ては夫々研究されることゝであらうが、這うした社會的施設の出來上つたことは、大連市及び大連市民のため大いに喜ぶべきことであるは勿論、斯る保健的設備の出來たことは、兒童保健のために喜ぶべく、青年達の水練にも利用が出來るから、一擧兩得といふものである。市に於ては成べく之を有意義に活用すべしだ。

●產院は流產か 赤十字社滿洲委員部では昨春來大連に產院を設立すべく計畫を進めて居つたが大體において可能性あるものと言はれ市民は其の實現の日を翹望しつゝあつたところ最近委員部首腦者間に種々の異見が起つて遂に中止する事となつたやうに傳へられたので直接その衝に當つて居た大連支部の如きは開いた口も塞がらぬ有樣である大連赤十字支部は社員總數一萬二千五百餘名を有し假に一箇年三圓の寄附金をするとして正社員の數が八千餘名許りあり一箇年二萬四千圓も收納し得る譯であるから此の醵金全部を大連で使用し得ぬ迄もそれで何等の事業をも經營しないといふ事は赤十字社の平時事業として賢明の策ではない殊に滿洲は內地と違つて日支兩社員の外に歐米人の加入者も相當にあるにも拘らず僅に巡廻施療位でお茶を濁して居るのは赤十字社の事業を醵金者に納得せしむるに甚だ貧弱と云はねばならぬ又事業の性質を加入者に知悉せしめないで醵金のみの多からん事を希ふは當事者としての愚さを表明するに過ぎない夫れは委員總長以下の健在を疑はれるばかりでなく延いては赤十字社といふ看板に對する汚辱を助長する事になりはしないか產院が必要な社會施設たるは今更言ふまでもない事で赤十字の手に設立されぬとせば豫て市役所でも計畫した事があるのだから市で設立するも可なりであると某有力者は語つた。

社會問題彙報

大學の智識を民衆の中へ

文化の源泉たる大學の高い知識を民衆の中へも擴げて行かうとする新運動が社會法學の末弘敎授や社會學の戸田敎授等の統率の下に自發的の意氣に燃ゆる東大學生團によつて起された之れは西歐においてはユニヴアシチーセツトルメントと稱し大抵の大學には社會敎化として又研究機關として立派に置かれてあつてそれの無かつたのは獨り日本の大學許りである其れの仕事は學生敎授等が勞働街に行つて文化的の知識を普及し傍ら社會學の演習勞働者心理の研究、其他諸般の生活要素の調査等を爲して國家社會に貢獻せんとするものであるが一番盛んなのは英國であつて一昨年セツトルメントの事業家、敎育家、學者等が倫敦に集まつて世界的大會を開いたとき我が東大からは戸田敎授が出席した。

此たび東大でそれを日本化したセツトルメントを計畫したのであつて勞働調査、一般の生活調査、勞働者敎育、一般社會敎育、社會事業、子供敎化等に付きその中心地を物色中だが已に末弘敎授は本所深川の工場地帶へ出張してバラツクに收容されてゐる罹災者の實狀に關し諸種の調査を遂げた費用は末弘敎授の熱心により成つた罹災地圖を賣つた金とそれから學生諸君が犧牲的努力によつて得たところの金を資金として官費に據らずに此の新運動に着手したのである而してやがて之れが近き將來において一ツの大きな大學の公的施設として實現せられる時が來なくてはならないと大學の有力者は見てゐる。

計畫進みつゝある金融組合

大連店舖改良協會の金融組合設立計畫は着着進行してゐるが過日大連民政署に於て評議員會を開きその具體案を決定した筈である之れにつき評議員の一人は語る「金融組合の設立といふことは現時疲弊の極にある小賣商人を救濟する方法として最も重要なる案件であるので愼重なる調査に基き既に有志のものの作成したる草案も出來てゐる譯だが更にこれを骨子として評議員會にかけ或は特別委員を設けて調査することゝなるだらうと思ふ金融組合といつても從來在り來りの組合の如く實施した後の結果が思はしくなかつたり不結果に終るやうでは設立の意義が徹底しない譯だから組合としての業績を擧げるためには普通金融組合の如く理事者を名譽職とするやうなことをせず或種の機關を設け責任を持つて職務を遂行せしむることや官の監督指導を受けることなど必要であらうと思ふ。

斯くするには關東廳の諒解も必要であるから組合設立に關する根本的要項を確定すると共に官廳との諒解を得ることに努めればなるまじく又組合が設立されたとしても如何にして低利な金融をなし得るかと云ふやうなことも研究を要する項目だが普通の組合の如く納税の義務を負ふことゝなれば何うしても金利を五厘ぐらゐ高率としなければならぬと云ふやうな事も起きて來るし兎にかく官の諒解を得たうへ普通金融組合に比し或種の特徴を有するものを設立して實際の效果を擧げたいといふのが眞の目的である」云々。

大連に於ける昨年の家出人

家庭の不和または厭世等のため或は使込み墮落ちなど昨年中大連警務署で取扱つた家出

人の數は（藝酌婦除外）四百七十名そのうち發見されたもの二百九十六名、行衞不明が百八十四名である此の多數のうち一番多い月は五月の四十八名を筆頭に十月の四十五名、三月の四十四名、九月の四十名などで斯うした順序の下において最も尠い月はない月の二十七名と十二月の三十七名とである。

この統計から見ると陽春の氣も浮き立つ候と秋口の兩期とに家出人が最も多い之れは自然から受くる人心の變調を如實に物語るもので卽ち人間の心理狀態があり〳〵と窺はれる更に藝酌婦などの逃走を見ると出奔總計百三名、發見數六十四名、行衞不明が三十九名で最高逃亡期は九月の十六名、八月の十名、三月の十名の順序で最低は四月の四名である一般人の家出期節と趣きを異にし最も多かるべき筈の四五月にはグツと尠い此の現象に基けば普通一般のものと藝酌婦とが逃亡期を異にするのは如何なる原因によるかその心的作用を洞察することは出來ないが何れにしても極めて面白い興味ある對照である。

民衆娛樂の凄まじい復興

東京淺草公園の各活動寫眞その他の諸興行物が年末から新春へかけて一齊に復興開館するまで久しく娛樂に飢ゑた一般民衆の見物は待つて居たと許り物凄く押寄せて各館何れも表飾りや內部の椅子などを毀されぬ處はなかつた此の非常なる人出は三ヶ日から松の內まで連日引續き六日の日曜など午後から夜へかけて六區は通行も自由ならぬ程であつた公園に年久しく住む新門の役當が「復興の淺草は賑ふとは思つたが斯んなに景氣が立たうとは全く想像以外で此處數十年來の人出である現に各飲食店など三ヶ日分の仕込みを元日一日で賣切つて非常の大迷子つきをした」と驚きの目を瞬つて居た玆に於てか公園興行組合では此機を逸せず淺草公園を何處までも民衆娛樂の本場として此の人氣を續けるやう益々發展策を講ずる必要があるとて一同集會を催し硏究改善の實を擧げることになつた。

常磐興行株式は懷る都合か將た公園の形勢を觀望してか公園劇場常磐座、金龍館の再築を控へて居たが此の景氣を見ては躊躇して居れず取敢ず常磐座と金龍館の工事を急ぎ三月までには落成せしむることになつた常磐座は御國座との對抗上澤正一派で蓋を開けることになるであらう御國座も早速修繕工事に着手し是れまた三月上旬の舞臺開きは左團次一座か吉右衞門中心の青年一座出演に內決した觀音劇場も九分通り出來上つた一月末には例の五九郎で開場することになり是れで殆ど復舊することになるが只キネマ俱樂部のみが目下のところまだ再築の見當が付かない是は元來國活のもので震災前日活が經營して居たが國活日活の合同が震災で中止となつた結果未だに再築の見込みが立たぬのださうなそれと眞先に開場すべく逸早く再築工事に着手した萬盛館が七分通り出來上りながら建築條例に觸れて改築を命ぜられた爲め其まゝになつて居るのは兎に角飛んだ失敗であつた。

社會局に婦人の工場監督官

婦人參政權は通らぬがそろ〳〵政府筋の心ある人が婦人や兒童に關係のある問題を協議する場合には少壯有爲の婦人を交ぜなければならぬと云ふ考へを持つに至つた內務省社會局では旣に二名の婦人囑託を置いた事のある關係上農商務省から合併して第一部第二部となつた新社會局にあつても工場監督官の石原博士等が率先して婦人の工場監督官を置くことに就いて過去一年の間熱心に他の了解を求めることに骨折つた結果漸く認められて愈々婦人の工場監督官を任命することに決定し目下その人物について物色中である。

實際日本の富の大部分の生產にあづかる製糸や紡績の女工は男子の勞働者に對して六割を占むると云ふ。こゝからして是等の多くの女工達の幸福を圖るために先覺婦人の指導や監督の必要あることは云ふまでもない博士の意見としては三十前後の若い婦人で組織立つた頭のあるもので自分の意見を堂々と發表することが出來猶は實際の仕事の出來る手腕のある者といふ註文であるが取敢ず婦人の工場監督官としては衞生上の問題や保健の問題が多いので第一候補者を女醫の方面に求めて居るさうである猶は今後は出來るだけ有爲な婦人を引上げ夫等の婦人が新しい社會的方面の仕事に十分活躍することを望んでゐる。

不良少年に就いての相談

少年審判所では今度進んで各區に散在してゐる少年保護司や囑託の家を其まゝ相談所にして不良少年の豫防と感化事業を始める事になつたが東京市小石川大塚坂下町の幼少年保護所でも主任の柴田忠衞氏が保護司の囑託になつて居るので不良少年の相談所を開く外に氏はこの際相談に來るのを待つてゐるやうな生温いことでは本當の豫防も感化も出來ないといふ見地から進んで相談に出蒐けて面倒を見るさうであるが氏は此の事業に就いての抱負の一端を左の如く語つた。

警察が多忙の爲めに不良少年少女が審判所にも見ゐず保護所にも來ないからと云つて震災後不良少年はゐなくなつたと速斷することは出來ません私の今日迄の經驗によると却つて殖ゐる原因はあつても減る原因は發見出來ません就ては次のやうな子供を持つた親達は直接こゝへ相談に來るなり又は葉書を下されば相談に出張し學校の成績の惡い子供の原因が知りたい方や身體の何處か惡いか判らぬが親に面倒をかける氣むづかしい子供いくら諭しても小使錢を濫費してその躾け方に手古摺つてる子供その他年齢に似合はぬ早熟で親に不安を與へる子供や人のものを盜んだり他の子供を虐待して喜ぶやうな性質の兒童等いろいろ有りませうが親の敎育や訓戒ではどうすることも出來ない性質の兒はどうか相談に來て欲しいと思ひますそれから此の幼少年保護所には少年少女の就職相談所が出來ますし醫學士の氏家信氏が月土兩曜日に來て診察しますから私達の相談と共に充分滿足が與へられます同時に亦親に向つても子供を大切にする精神を吹き込みたいと思ひますと大連でも不良少年問題を閑却してはならぬ。

香爐礁の苦力部落と收容所

大連民政署が市街計畫に當つて何時も頭を惱ましてる問題は苦力の散宿地である曾て寺兒溝及び譚家屯が苦力の巢窟であつて市街計畫に依り之が立退きを必要とするや半永住的の多少資力を有するものには大劉家屯に替地を與へ然らざるものには石道街の山間に移轉地を指定して自由に移轉させたもので爲めに石道街には大正十二年十月一日の全國々勢調査のとき一萬に達する人口を抱擁する新市街を建設したる有樣にて其後陸續移住者を出し今や警官派出所を設置するまでに發展したが一方大劉家屯に替地を貰つて移轉する事となつた支那人等は同地が沙河口と小崗子の中間にて市街地として發展し行くべき相當の地價にて賣買し得るを看取し好機逸すべからずと折角貸下げて貰つた土地を間もなく賣り拂つて今度は鐵道線路の北方海岸寄りの香爐礁に無斷建築をなし其處に移住して了つたので今日では四五千の戶數と一萬五六千の人口を有する一大市街を建設するに至つた。

民政署や警務署が緩漫なる取締をなしつつある間に彼等苦力連は何處でも構はず空地さへあれば丸太を立て高粱穀を壁小前として亦

土を塗りつけ謂ゆる掘立小屋を雜作もなく作り上げ更に氣の强い奴になると石造や土煉瓦で普通住宅向に堂々たるものを建てるのもあるといふ狀態で彼等は既に無斷建築の立退きを喰つたとき替地や立退料を貰つた甘い味を忘れず又も香爐礁に巣喰つて寺兒溝と譚家屯移轉當時の二の舞を演ぜんと目論んで居る模樣である官廳において此方面は未開地だとか未貸下地だとか貸すとか貸さぬとか云つたところで彼等苦力階級には何等通用せぬことで貸すも貸さぬもお構びなしに何處でも彼處でも空いてる土地は勝手に利用して家を建てることは差支へないと不文律のやうに思つてゐるのだから堪まらないソコで苦力收容所の新設が必要となり之を新設するとせば個人的營利的にならぬやう一個の社會事業として當然大連市が之れに當るべきであると云ふことになり市では先頃社會事業委員會を開いて公設市場設置及び保健浴場引受け問題と共に此の苦力收容所の問題について審議したから早晩何とか解決が附くことであらう

大學生が貧民窟へ活動開始

諸外國の各大學では既に盛んに行はれて居る大學植民を東京帝大で實行して貧民街にユニメシテイエキステンションを行はうとする企てのあることは別項にも記したが今迄ドン底生活者に交渉のない大學生を彼等と知り合ひにするの方法として金十圓を最高限度として資を貸し彼等が小口な烏金といふ高利に窘められる事から救つて學生も彼等と共に研究もし社會事業も行はうといふ企てが此度計畫された斯うした活動は歐米では社會學の事業で實際社會學の研究が中心になつて行はれるのに帝大では社會學の外に法學經濟學も交つて準備を着々進行し目下深川猿江裏町を中心としてセツトルメント豫定地圖が作られてゐる之れによつて實行計畫が成立するのである今回の下調べによると此ドン底生活者の社會中には種々今まで發見されてゐなかつた不思議な現象がある其の一つは彼等の間に花柳病の殆ど無いことで共同風呂も此點では立派な街の湯屋より衞生的であることだ。

その理由は彼等の世界では食ふ事と生きる事とに逐はれて少しでも餘財があると通る自動車などの番號を當合つて賭博をしたりすることが唯一の娛樂となつて居るので自然婦人關係も起らず同時にまた自ら進んで學問しやうとか向上しやうとか考へる者は皆無なので敎育のある連中に反感を起して時々大學事務所に暴れ込むのであるソコで自由勞働者に先づ金を借してやり集まつて來た處で文學部の學生は日本字やローマ字を敎へ工學部の學生は器具とか簡單な裝飾物などの工業的職業敎育を授けたいと熱心考究中でセツトルメントハウスが深川に出來次第醫學部の學生など泊り込んで事務を開始する筈である。

免囚保護と在監者の製作品

大連に於ける免囚保護事業としては今日のところ爲仁會が主として其の世話をしてゐるが却々容易な仕事でないし同會に依つて總ての前科者が救はれるといふことも望み得ないのみならず第一昨今のやうに財界の極度に疲弊した際には出獄者が俸給生活を希望しても殆ど雇主がないので矢張り勞働とか技術とか自營的の職業を求めて自活の途を講ずるの外仕方あるまい夫にはドウしても服役中に相當の技術を修得して置く必要があると云ふ見地から旅順の監獄では在監者に技術の敎授をなし出獄後の用意に努めて居るが如何せん製作品の註文が頗る閑散なため思ひ切つて品物を製作することが出來ず從つて技術の修得にも影響する事となるので何とか製作品の消化に援助して貰ひたいと云つてゐる。

之れは誠に尤もな希望であるが滿鐵とか市中とか區別的立場で議論すべき問題ではなく吾等在滿邦人が等しく援助すべき責任があると思ふソコで滿鐵の社會課では先方の希望に從ひ出來るだけの援助を與へる事としたさうだが併し未だ具體的の案はないやうで差當り消費組合だけでなく一般的に普及するため家庭研究所の一部を割き製作品の販賣とか註文とかの仲介をやり旁々爲仁會と提携して行つたら免囚保護事業の上に多少の效果があるかも知れない我が滿洲社會事業研究會でも一時此の問題に觸れ或向に販賣所の設立を奬めたがこれは今猶は其儘になつて居る。

ミルクステーション十箇所

ピアード博士夫妻が米國から委託されて來た垢脱けのした組立てバラック六棟に四棟を足して東京市社會局では丁度十ヶ所のミルクステーションを最近開所した場所は九段、日比谷、芝公園、神宮外苑、淺草玉姫、上野公園、本所江東橋、深川富川町、本所業平町と京橋築地本願寺等の集團バラックの多い所である此の十ヶ所には醫師一名、看護婦一名が毎日午後出張して兒童の哺育相談に應ずる筈である從つて以上の十ヶ所は細かしく言へば兒童相談所とミルクステーションの二つの仕事を併置したものである乳が出なくて困る母親や赤ん坊の育ちの惡い場合には赤ん坊を連れて此のミルクステーションへ行けば診察もするし相談にも乘るし生活に困る方には無料で毎日の牛乳を與へるのである。

これは市の社會局が震災前から實現して見度いと思ふてゐた牛乳市營の前提をなすもので聞く所によると此の事業は今後ずつと長く續けて行く〳〵は市經營の牧場まで持たうと云ふ所まで計畫が進んでゐる然し廣い東京に右十ヶ所のステーションだけでは折角牛乳を無料で貰ふことになつても一々遠くへ取りに行かればならぬので此のミルクステーション以外に三十ヶ所の配乳所を各ステーションに附屬せしむる豫定で既に十二ヶ所は完成したその箇所は富川町のステーションに附屬して深川には猿江町深川公園、芝公園には芝離宮內、築地には月島第一號地、神宮外苑には新宿御苑、淺草玉姫町には淺草寺藏前兒童游園地、業平町には本所横川町中ノ郷、江東橋には被服廠横錦糸堀等の配乳所である。

築地本願寺の社會的事業

私たちの事業の中心は子供の國にありますと標榜してゐる通り東京築地本願寺では全市に向つて救ひの網を張つてゐる其內の大部分は子供に關係した仕事である(一)託兒所の如きは最近築地本願寺の境內に開かれたものを混ぜて六ヶ所、日比谷のバラック、上野公園、府下三河島、本所龜澤町、深川公園等に小さいところで百人大きな所は六百人からの兒童の面倒を見てゐる之れが爲めに罹災婦人がどの位授產場に出掛けて働いてゐるか判らない(二)コドモ會館は上野公園內に一ヶ所であるが之を中心にコドモ新聞を發行し舊臘中は約三萬枚の新聞を刷つて兒童に配布した更に年末の一週間を罹災兒童慰安會として久留島武彥氏の如き一流のお伽噺の大家を中心に慰問隊を組織してお伽噺、活動寫眞、童話劇、少年琵琶等の餘興を持つて巡回した。

(三)兒童愛護袋を全國の眞宗婦人會の會員から募集してゐた九條武子大谷䄄子夫人等を主とする日本佛教婦人聯合會では集まつた金を以て小學男女兒の着物約五萬着を裁縫して罹災兒童に配布した(四)婦人職業補導館は東京眞宗婦人會令女會及び千代田高女などの會員が引受けて上野バラックの罹災婦人を一時三百人から引き受けて來たが昨今では二百人前後の婦人が毛糸編物と和服裁縫の仕事をつ

つけてゐる（五）婦人職業相談所は最近神田猿樂町の假建築の明治會館內に新しく設けられたもので之れは專ら櫛原龍督師が先頭になつて努力してゐる以上は本願寺が非常に努力し來つた子供と婦人とに關する事業でその效果も相當に擧つてゐるやうである。

好成績の借地借家爭議調停

借地借家爭議の續出に鑒み東京、大阪、京都、兵庫、神奈川の三府二縣に實施された借地借家調停法は實施後一年二箇月にて豫想以上の成績を擧げ殊に大阪區裁判所の如きは昨年中五百五十八件の爭議を受理したがその大部分は圓滿に解決し全國五箇所中第一位の好成績を收めたそれで司法省では更らに施行區域を擴大し國民の多數に本法の利益を享有せしめるため明年度から名古屋、福岡、仙臺、長崎、廣島等の都市に本法を實施することにした尙ほ司法省では借地借家調停法に倣ひ近時頻出する小作爭議や商賣上の紛議にも一の調停法（小作調停法、商事調停法）を實施する方針を立て兩法案の起草中で議會が無事なら今議會に提出される筈であつた。

大阪に於ける借地借家調停が特に好結果を得るに至つたのは從來訴訟により多大の費用を投じ二三年も掛つたやうな事件がこの調停法で僅かに一二回會合して解決したなど多忙な大阪商人に非常に喜ばれたことが主因でその他調停委員の選任が當を得て委員は何れも世故に長けた人格者であることや調停主任の青木、藤井の兩判事が熱心な努力と公平な裁決によると言はれてゐる事なども好評の一原因である因に大阪では昨年九十餘名の委員が選ばれたが過去一年間の經驗に徵し事件の多かつた南區には委員數を增し一面氣分を新たにする意味に於て多少委員の入替を一月中に行ひ東西南北の四區の內でも特別に事件の多いところには一般の便利を慮り三四箇所に調停室の出店を設ける事になつた。

少年少女に對する職業紹介

一般の大人の就職それから婦人の就職の世話まで世間も近來漸く氣ついて眼鼻がついて來てゐるが女學校及び小學校の半途退學者である少年少女の身の上に就ては世間でまだ何の手引もしてゐない之れも婦人の求職者が震災翌日から紹介所の門に立たないからと云つて失業婦人が無かつたのではないのと同じ理由で學校を半途で退かなければ成らなくなつたのみならず就職難の事情に陷つてゐる者が多いと推測さるゝので文部省と東京市府の學務課ではそれを月謝免除等の方法で救助しようとして居るがその程度の補助では何うすることも出來ぬらしい現に本所、深川、日本橋、京橋、淺草、下谷等の燒失した各區の直營小學校や夜の補習學校や其他いろ／＼な學校が開校しても集まる生徒は算へる許りで家庭の事情を調べると學校へ行くことの出來ない境遇に變り果てたものが多かつたさうだ。

一方この紹介所へも少女は子守に少年は商店の雜役、左官、大工、疊職、其の他の家內工業勞働の徒弟として昔の年期奉公の申込みが復活し來り「喰はして腕をつけさして一人前にしてやるから家の困る少年は引きとつて上げる」と云ふやうな好ましく無いものが非常に多い近年年期奉公の奴隷的使用が止んで新らしい徒弟の制度が生まれかゝつたのに口では上手なことを言つても結局は使ひ切つて後は責任もなく放任して仕舞ふと云ふ有樣で此際年期奉公の復活は少年少女の職業指導上由々しき問題なので東京市中央職業紹介所は今回バラツク建を以て少年少女職業相談所を別に新設して少年少女の保護と職業の指導をなす事になつた之れは洵に時代に適合した好良な一種の社會施設と云へやう。

自愛 愛他

◆トルストイは愛を中心として人道主義を說いた哲學的ではないが宗敎的に情味深いもので有つた◆基督は爾の隣人を愛せ敵を愛せ人若し右の頰を打たば更に左の頰を向けて之を打たしめよとまで力强く說いた◆ト翁の無抵抗主義はこゝから起つたもので其處に愛を中心とした人道主義が成立つたのだガンジーの無抵抗主義も宗敎に根ざして居る所がある◆東洋でいふ寬容の德も隣人を愛し敵を愛する雅量があつて始めて物に成るのだ佛敎の自利々他はこれを自愛々他とすべきである◆己れを愛する心を親と妻と子供に擴げて家庭の圓滿が庶幾される如く更にそれを隣人に及ぼし敵に及ぼし他の一切のものに及ばして玆に社會の健全なる發達が望まれるのである◆一切衆生を濟度せんとした釋迦の大悲大慈は卽ち大なる愛で有情非情を問はずその愛によつて救はうとしたのである◆彼がカピラヤ城を出でゝ檀特山に入つた發心の端は道に壯者の病めるもの老者の飢ゐるものあるを觀て世の無常を感じ老少不常といふ事を信じて之を救はんとの情に動かされたのが基で卽ち大なる慈悲心が動機だつた◆菩提心とは愛の變名で發菩提心とは大愛を發揮することだ大愛を發揮すれば己れを苦しめても他を助けやうといふ氣が起る◆基督がゴルゴダ丘上に十字架となつたのも瀆罪といふ大愛の致すところで罪の人の子のために自らを犧牲に供したのである◆斯うした大愛の士は平々凡々たる普通の人々には固より望まれない事であるが今日のやうに社會に對する愛の現はれが鈍つても困るのである◆手を飜へせば雲となり雨となり些々たる感情や利害のために明日の味方が今日は敵となつて互に睨み合ふといふ現代社會のやうな有樣になつては殆ど全く情味といふものが無い◆愛は社會の紐帶で愛なき社會は恰も愛なき家庭と同樣で各人相率ひて自我と利己とに走り喧嘩や煩悶が多くなる◆斯うした社會には自我心と利己心に富んだものが榮ゐ自分の悪いことを棚に上げて他のアラ拾ひを事さするものが殖ゐそして社會が殺伐的になる◆己れを責むるに嚴なれ他を責むるに寬なれと古人は言つたが自我心と利己心に富んだものは自分を責める事など少しも思はないで他を責める事ばかり考ゐる◆昔は敵と味方に別れた場合にも上杉謙信が敵に鹽を送

つたと云ふ情味深い美譚もあつたが此頃の政爭や黨爭は他の揚足取り許り事とし甚だしきは卑劣な陰險な毒殺手段まで講ずる◆大不敬事件の起つたとき或る黨人が眼の仇にして居た當時の後藤内相に毒付き後藤の赤化氣分が斯る椿事を生んだのだと云つたなどは其の一例である◆皇室に關する事柄を政爭の具に供すること夫れが既に大なる曲事であるのに自分の曲事に氣附かないで敵を誹る事ばかりに熱中するとは汚ない量見だ◆然るに斯樣な汚ない量見を持つたものが今日の實社會には到る處に蜘蛛の網を張つて居るのだから危險だ謂ゆる危險思想なるものは斯かる氣鬪氣から醸されて青年男女を誤まるのである◆或者が少し頭角を現はすと腐つた女のやうな嫉妬心から何がなしに其者を叩き伏せやうと考ゑ其者に鳥渡した失策でもあるとそれを捉ゑて誇大的に非難攻擊の矢を浴せかける◆小人多くして君子少しそれが古往今來社會の常態であるとすれば斯うした事象が起るのも怪むべき事ではないがそれではとても社會の健全な發達は望まれぬ◆惡貨多ければ良貨を驅逐するといふ經濟上のグレシヤムの方則が社會にも公然行はれる樣になれば此の社會は小人と惡人の社會になつてしまう◆正義の士はこれを憂ゑて起ち小人や惡人共から有りと有らゆる讒誣中傷を受け遂に正義のために犧牲となつて斃れる◆基督はこれが爲めに十字架に針付けられ孔子は陳蔡の野に餓ゑ王陽明は潮州に謫せられソクラテスは毒を呑まされガリレオは舊教徒に殺された◆悲しい恨めしい事ではあるが其處にまた大なる意義がある彼等正義の士は身を殺して仁を爲し身を犧牲にして光を放ち負けて勝ち棺を掩ふて人定まつたのだ◆正義の士は強かれマホメットの如く劍とコーランを提げて不義と戰ゑそして破邪顯正の實を示せ斯樣な戰ひは平和と光榮を齎らさんが爲めの戰ひだ◆併し世俗のコセ〳〵した動機の汚ない小さな爭鬪は社會を害するばかりで社會を益しない何等の人情美もない況んや人類愛などは藥にしたくも無い◆田舍に行くと土着人の多いため隣保共同と共に今でもその小さな社會に人情が籠つて居るが寄合世帶の都會人はてんやわんやで人情美の現れが鈍い◆滿洲のやうな新社會においては殊にそれが甚だしい日本人同士に愛と和親が乏しくして何うして日支人間の親善が出來やうぞ出來るものか。

危險ボーイ

◉人を見たら泥坊と思へとは餘りに甚だしい疑ひだが人心の危險なる今日或はその位の用心が必要であるかも知れない◉併し警察官が嫌疑者を頭から犯罪人であると思つて苛酷な糺明をしたり拷問に等しい事をしたり碌に取調べもせずに永い間を留置場に叩き込んで置くのは惡い◉そんな事から人權蹂躙問題が起つて法曹界に時ならぬ波瀾を起させるのである◉トは言ふもの〻支那人の下級者には大抵盜心があると思つて大連を初め滿洲の各地に住んで居る我々邦人は注意する事である◉昨年大連市山城町の滿鐵醫院池田醫師方を襲ふて女中の中山菊子を慘殺した犯人は支那人であつたが最近同じく大連市南山麓櫻町の是松氏方を襲ふた强盜も支那人であつた◉そしてその孰れもの支那人强盜はその家庭に使はれて居た支那人ボーイが手曳きしたので有ると云ふから危險千萬だ◉池田醫師方の强盜殺人事件があつたとき支那人ボーイを使ふなかれ若しそれを使ふ場合には能くその身元を調べ確とした保證人を立させソシて其の使用前に當人の寫眞を取るやうにせよとの經驗家の戒告があつた◉是松氏方では果してその通りにして支那人ボーイを使つて居たのであるか若しさうでなかつたら多少の手落ちがあつたと云へる◉出來るだけ手段を盡くして猶且つ遣られたとすれば支那人ボーイは今後絕對に使用せぬ事にするの外はない◉家庭に依ては日本人の女中や書生を置くのは不經濟であると云つて單に經濟上の利害的打算から支那人ボーイを使用する者もあるらしいがそれは心得違ひだ◉僅かばかりの經濟的利害に囚はれて安い支那人ボーイを使ひその爲めに强盜を闖入させるのは一文惜みの百失ひと云ふものだ◉日本人の女中も此頃はなか〱狡くなり給料が安いと怠けたり愚痴つたり遂には飛び出したりするが危險な支那人ボーイよりは遙に增しである◉支那人ボーイの爲めに家庭に危險を感せしめると云ふことは家庭上の問題であると同時に又社會上の一問題である◉第一滿洲における文明都市たる大連で强盜が闖入したり殺人事件があつたり譚家屯に婦人脅迫が行はれたりするのは我が警務上の恥辱であらねばならぬ◉併し警務を萬能視して市民自らの注意警戒を怠るのも間違つて居る市の區委員達も注意して可なりである。

創作

空しき別れ

永田新郷

（一）

一抹の雲翳だにもとゞめないで、高く晴れ渡つた大空の下に、晩春の陽光を金綠色に反射して、枝といふ枝に青葉をつけた櫻の木立が道路の兩側に立並んで居る。くつきりと濃い紺青の姿を、透き通つた窓硝子に映して居るのは、その櫻並木に打續いた松林である。しんなりと波の搖めきの樣に南へ、南へと向つて競ひ延びた櫻の枝は、重い空氣と淡い日光を呼吸しながら、自然に發育する幸福を囁いて居るかのやうに見ゐる柔かく重り合つた楕圓形の葉は、幾百萬の樹の眼の如くに、まぶしさうに日に照り輝きながら、生物の息のやうに吹き渡る風の音に小さな捻りを立てゝゐる。道路の向ふ側には、麥畑が一面に打續いて、はちきれさうに熟しきつた麥の穗が、かん／＼と照りつける眞晝間の陽の光を反射して、灰綠色の櫻の木の幹の間からづきんと頭に響く極めて强烈な色彩を見せて居る。

前田は窓を閉めて自分の机の前に來て坐つた。その時、彼の瞳の底で、眼球に集つた悉くの神經が、ぐらつと渦卷くやうに躍つた。その瞬間彼の眼界は急に暗くなつた。それは燃るやうな明るい室外を眺めて居た彼の眼が、急に光線の乏しい室內に這入つた爲め、彼の肉眼に起つた生理的現象に基いてゞあつた。さうした事は今までも何回となく遭遇した經驗によつて彼自身十分に知り切つて居た。けれども豫期して居なかつ

た刹那に、不意打に遭ふと云ふことは、彼をして今更の如くに驚かしめた。併し時間が立つに從ひ、彼の眼界は次第に明るくなつて來て、机の上や棚の上にある色々なものが分るやうになつた。それは全く數分時に過ぎない變化であつた。彼はその數分時の間に視力の自由を奪はれた不快をつく〴〵感ぜずには居られなかつた。そこにいら〳〵しい、と言つて怨むべき何ものを見出し得ないが、唯何となく憤怒を起さずには居られなかつた。彼は自分の身の中に自分の我儘から起つた憤怒と嘲笑の潛んで居ることを感じた。さうしてたつた今、自分が理由なき憤怒を起した事に對して、一種の馬鹿々々しさを思はずには居られなかつた。さうだ、全く理由なき憤怒だ、彼はさう思ひながら、机の抽斗を半分程開けた。

此の時彼は更に悲痛なる人生の事實を考へ出した。盲人を見ろ、盲人はどうする、盲人はどうすれば可いのだ、やつぱり理由なき運命の惡戯として諦めねばならぬのか、諦めねばならぬ理由が何處にあるのか、生涯暗黑の世界の中に虐け抜かれる爲めに生れた者として、彼等は彼等自身の不幸を諦めて居なければならぬのか、恐らくは諦められまい。諦めても諦めても、諦められない不遇な人間によつて、この人生は一層暗さを增して居る。自身も此の盲人と同じことではないか。諦められないが併し誰を怨むべき樣もないのだ暴虐な運命の手に囚はれたと云ふより他に云ひ樣がないのだ。

彼は斯く考へた時、思はず身震ひをした。今まで感じた事のない人生の暗さを自分の身の中に意識せずには居られなかつた。何ともいへぬ不安の念が夕立雲の如くに自分の體中に湧き立ち起るのを彼は痛々しいまでに感じた。彼は開きかけた机の抽斗を自分の神經に響かないやうに靜かに締めた。こうした場合、自分で想像する事の出來ない程に、彼の神經は銳く尖つて行くのであつた。それからそれへと、想像は想像を生んで、果しなく空想の世界にと移り行き、そして自身の神經のために、その神經の暴虐な振舞の爲めに、自分

と云ふものが傷づけられ、痛み惱まされるのであつた。彼は机の上に頰杖をして、殆ど限りなく斷續する暗い惱ましい思想の渦卷を、どうにかして鎭めなければならぬと焦つた。けれ共、焦れば焦る程、腦の中に却つて大きな蟠まりを增して行くやうに感せられた。どうかすると、自分の體中が陰鬱な今にも荒れ出しさうな雲の渦卷に覆ひかくされてしまうやうに思はれた。

彼は堪ねきれなくなつて、頭を擧げて、空間の或る一點を凝視した。やがて彼は彼の兩手を擴げて、その手の拳にぎゆつと力を入れて、無暗矢鱈に空間をつき捲つてみた。彼の手はその始め凄まじい勢ひで殆ど力そのものが空間に躍るやうに動いた。どんなものでも突き破つてしまはなければ止まないと云ふやうな、非常な猛烈さと共に、そこに渾身の勇氣を吐き出して居た。然し乍ら、それはほんの數分時しか經過しない中に消ね失せてしまつて、彼れはぐつたりと机の前に倒れるやうにして座つた。そうして彼は、自分の頭が空虛になつたやうに感じながら、薄暗い中にぼんやりとした顏を浮き出させて居た。一切の思想の渦卷は彼の身の中から脫け出したやうに姿を消してしまつた。ばかんとした、もの足りない氣持が彼を人形の如くに肉體ばかりの人間にした。と同時に、心を奪はれた者の寂しさと、物足りない寂さを彼は泌々と味つた。併し時間のたつに從つて、彼の全身の組織が疲勞を恢復するに從つて、その空虛もだん／＼と滿たされて行つたそして彼の顏が人間としての存在を十分に誇るに足るだけに輝き來つた。生活意識が復活したのだ。その時がらつと云ふ音がして忽ち障子が開いた。見ると其處には宿屋の女將が立つて居る。

『這入つてもいいんですか』

『ねゝ、構はないです』

宿屋の女將は、彼が此の宿に來てから、ぶら／＼して居る彼の部屋にやつて來ては、色々自分の知つて居

る人達の就職運動に就いての苦しい經驗や滑稽な場面を、滑らかな舌の動きに任せて語るのであつた。それで今日も亦、彼の部屋に來て、何時もの通り色々な事を話し出した。

『あの好景氣の時には、どんなお方も羽が生ゑて飛ぶやうに捌けて行つたもんですが、此頃はさう旨く行かないんですつてね、お氣の毒ですわ、だけど、見つかる時は案外早いものですよ、何しろ前田さんはまだお若いんですから、萬事はこれからですよ、好いお嫁さんを貰つて、立派な所に勤めて、お金をごつさり儲けて、榮耀榮華をなさるのが目の前に近づいて居るやうなものですわ、ホヽヽヽ」

『小母さん、そんな事言つても奢らないよ』

『いゝわ、今に屹度奢つて頂かなくちやならない様になりますよ』

女將はこんな事を言つては、さも羨ましさうに、彼の顏をのぞき込むのであつた。前田は大抵こんな時は冗談のやうに笑ひにまぎらして仕舞ふのであつた。

將來の爲め、出來得るだけ早く良い職を求めやうとした彼は、先輩や友人の好意で貰つた紹介狀を持つて氣の向いた時に出て行つた。併し好い結果は容易に得られさうもなかつた。可なり有望と思はれたK商店の方は、最後の面會の時『恰度五月中に缺員が出來る筈だつたので、その方に來て貰ふつもりで居たが、肝腎の本人が都合によつて辭職を見合せることになつたので、君にはお氣の毒だが、今暫らくお待ちを願ひたいそのうちに缺員が出來れば、是非お願ひするから』と云ふやうな事で、極めて婉曲に斷はられて駄目になり次に今度こそは大丈夫と思はれたN商店でも、主任の話によれば、殆んど採用されるまでになつて居たに拘らず、生憎主人が病氣で入院したので、これも出來ないことになつた。斯うして彼は漸く就職の面倒さに飽きて來た。新調の背廣を鹿爪らしく着込んだ彼が、ぐつしより汗にまみれて、悄然と下宿屋に歸つて來ると

待ちかねて居た口の輕い氣さくな女將は
『どうでした、旨く話がつきさうですか』と訊ねて呉れる。
『いや、駄目らしいです』
『まあ、氣長におやんなさいよ、落膽したつて始まりませんからね』
『ねゝ』と簡單に答へるより他に、此の場合、彼には仕樣がなかつた。彼はいつも歸つて來ると、出る時の快活な氣持に引きかへて、暗膽たる絶望のどん底にさまよつて居るのであつた。

　日が暮れると、呉服町から石燈路通りの家々には、水玉のやうに潤んだ灯が列を作つてきら〳〵と照り映へる。青い煙がそこらに立ち昇る。霞のやうな和らかい空氣は甲突川の上空から遙か三難の坡のあたりまでも包む。そして地上が晝間とは違つた賑かさを加へて來る。彼は絶望的な暗い心を抱いて、さうした灯の街を歩いては、漸く自分で自分を慰めるのであつた。

『なんでも好いから、何とかして早く職を求めるやうに努力せよ、二度や三度の失敗に失望するやうなことでは可かん、根氣よく求職せよ』

　父からの手紙で、こんな意味の事を云つて激勵してくれるのであつたが、彼は此の上、勇猛心を奮ひ起して運動を續ける氣になれなかつた。いつ迄も〳〵も、同じやうな事が繰り返されるのではなからうか、と云ふ樣な豫感が、彼をしてひどく求職運動を恐れしめた。一つの失望が二つになり、三つになり、徒らに失望の數を增すに等しい運命に、彼は根氣よく運動するほどの強い意志を持つて居なかつた。汗まみれになつて街を東奔西走すること、それさへも堪へきれない苦痛であつた。

『其中にはどうにかなるだらう、焦つても駄目だ、兎に角成行に委すより仕方がない』

斯うした考へから彼は宿屋にごろ〳〵する日が次第に多くなつて來た。

（二）

『前田さん、お茶を召上りませんか』

或る日、女將が階下から大きな聲で呼んで呉れたので、彼は退屈凌ぎに降りて行つた。そこの茶の間には女將の側に見知らない娘が並んで居た。

『お客樣ですね、ぢやまた出直しましやう』

敷居の所に突立つたまゝ、彼はかう云つて直ぐ踵を回らさうとすると、

『いゝんですよ、まあお坐んなさい』

と女將が云ふと、傍に座つて居た娘も顏を上げて、微笑しながら、

『かまひませんよ、さ、どうぞ』

と言ふので、彼はきまり惡さうにそこへ座つた。すると、女將も娘も急に默り込み、殊に娘はうつむいたまゝ何にも云はなくなつて仕舞つた。彼は飛んでもない場所へ來たと思つたが、今更引返すわけにも行かないので、同じやうに默つて居た。茶は番茶であつたが熱かつたので快かつた。

『文ちやんどうしたの、すつかり改まつちやつたのね』

とやがて女將が云つた。娘はパッと顏を赧くして、

『さうぢやないのよ小母さん』

その娘が文子である事を知つた時、彼は急に心の時めきを感じた。夢のやうな淡い情緒が犇々と迫まつて來るのを意識しないでは居られなかつた。それは、彼が此の宿屋に來てから毎朝雨戸を繰る時、殆んど定つ

たやうに女の歌ふ讃美歌を聞くのであつたが、歌の主がどんな女であるか、まだ曾つて見たこともなかつたけれど、女將からその女の名だけは聞いてゐた。今その歌の主の文子が自身の前に坐つて居るのであるから彼は永い間の戀人に始めて出合つたやうな氣がして、何となく胸が躍つた。

『お話した裏の山崎さんのお孃さんですよ。あなた、此の方御存じでせう』と女將が云ふと、文子は『いゝね』と答へて、もぢ／＼して居る。

『毎朝あなたの讃美歌だけは聞いて居ますが、お逢ひするのは今が始めてです』

前田がやつと口を切ると、

『いやよ、そんな皮肉を仰しやるものぢやなくつてよ』

と文子は徴かに口の内で言つた。その瞳は何ものかを暗示する樣に異樣の光に燃ゐて居た。

その後文子は、ちよい／＼女將の所へ遊びに來たが、いつの間にか前田の部屋にも來るやうになつた。その結果、彼は煩さい外へ出て失望して歸つて來るよりも、文子と宿屋の二階で遊んで居る方がどれ丈け晴々しいか知れぬと思つて、段々その方に心が奪はれて行つた。

或る日、彼が外を一日中歩き廻つて歸つて來た時であつた。女將と、文子の母と、文子との三人が寄つてお茶を飮んで居たが、もう其頃文子の母も好く彼を知つて居たので、彼に同坐を占め、そして彼と文子の事について暗示めいたことを語つた。その時彼はハッと思つた。それは明かに文子と彼との結婚を願つて居るらしく思はれたからだ。實際彼も、どうせ結婚するなら、すべての點において感興を惹かない叔父からの強制的要求にかゝる許子よりも、大分理解し合つた文子と結婚した方が好いと思つてゐた。その方がどれ丈け意義があるか解らないとも思つた。けれ共、彼の心の中には、結婚と云ふ固定的道程に對する大きな反抗が

極めて力強く燃へて居たのであつた。

まだ結婚する時ではない。再び來られぬ青年時代を無駄に過してはならない。斯ういふ叫びが絶へず心の中で擧げられて居るので、彼は文子に愛を覺ねても、結婚と云ふ問題に觸れるのを好まなかつた。若し彼が切り出せば、文子との關係は何の障害もなく易々と纏まるに相違なかつたが、併し彼には其の勇氣がなかつた。今や彼は二つの結婚問題―靜子と文子の―に惱まされ、どうすれば好いのか、その何れを擇ぶべきであらうか、また何れを振り棄つべきであらうか、と云ふ事が彼に取つては大きな問題となつたのである。彼はこんな事に惱まされながら求職にも熱を缺いで、空しき日を送つて居た。

それでも、月末に近づくに從つて、彼の頭には將來に對する自分の生活といふ考へが甦つて來た。そして有耶無耶の間に月日を過した事が、取返しのつかない事のやうに思へて、堪らなくなつたので、彼は或日不意に洋服に着換へて、また就職の運動に取掛つた。ぢりぢりと照りつける初夏の太陽は迷ひ出た前田の身體にまぶしい光を投げた。彼は汗に濡れながら、知邊を辿つてA商店からB商會、B商會からC商會へと順次に漁り歩いた。その道々彼は色んな事を考へたのである。

伊作を出てから此處に來て三ヶ月餘りにもなる。その間、先輩や知人の紹介狀で訪ねた所も少なくなかつたが、思はしい就職口がないので、半ば自棄氣味になつて、唯ぶらぶらして居るその腑甲斐なさに、彼は今更の如く呆れ果てた。年取つた父は、きつと自分が今にも好い職にありついて、やがて多少の金でも送れるやうにならうと、屹度待ちあぐんで居るに違ひない、そうして今にも、好い職に有り就いたとの知らせが來るだらうと、そればかり賴みにして居るだらう。それに自分の今の姿はどうだ。また上園の叔父は、あれ程に自分が養子のことに就て奔走して遣つたのに、手紙一本も寄越さぬのは何だ、と不審に思つて居るだらう

結婚については、靜子も承知して居ると云ふことだから、叔父は何うして養子に來ると云つて寄越さないのだらうと、それを案じて居るに違ひない。また靜子も未來の空想を描いて何かと問ねて居る事だらう。それに現在の自分はどうだ、まだ就職口も定まらないのに、文子といふ他の女性に心を奪はれて、ぶら〳〵仇し日を送つて居るとは、何といふ愚かさであらう。

彼の頭はこんがらかつて仕舞つた、そうして何が何やら解らなくなつた、唯あるものは二人の女性と一刻も早く職を求める事とであつた。

『いや〳〵、女と遊ぶ時でも、またそんな事を考へる時でもない、何よりも先づ社會への出陣の用意をせねばならぬ、愚圖々々して居る時ではない』

彼はこう自分を叱責し鞭韃した。

親戚の誰彼が彼を見る毎に『お前を便りにするより外にない叔父、叔母が居るのだから、確かりしてお呉れ』、と口癖のやうに云つた言葉が思ひ出されて、彼はその反省の下に多少勇氣付けられた。そして躍る心をぢつと抑へながら、明日の行動など考ねつゝ宿屋に歸つた。

(三)

八月になつても職には有り付けなかつた。焦れば焦るほど適當な職が見當らない。一旦緊張した彼も、之がためにまた次第に挫けて來た。仕舞には又しても自然の成行に任せるより他に道はないと觀念して、靜かに時期を待たうとさへ考へるやうになつた。此の上多少の日數を浪費しても、靜かに落付いて氣に入つた職を求めた方が、結句好いやうに思つたからである。

文子は其後相變らず彼の所に遊びに來る。上園の叔父からはいつものやうな意味の手紙が舞ひ込む。父か

らば彼が近況の問ひと共に就職口が決定したか何うかを案じて居るといふ手紙が來る。斯うした手紙を受取ると、ぶら〳〵して居るのが濟まないやうな氣がして、其の返事には遠からず何處かに決定するだらうと云ふやうな事を認めたが、實際は自分で自分の身が分らず、今後どう云ふ風に成つて行くのか、薩張り見當が付かないので、唯徒らに不安な日を送つて居るのみであつた。

斯うした焦燥と煩悶の間にも、前田は退窟凌ぎに時々文子の家に遊びに行つた。或る日、文子の家に晩餐に招ばれに行つた時、何かの話の序でに、彼女の母は彼にこんな事を云つた。

『私の口から云ふと、變に聞へるかも知れませんが、どうぞ氣を惡くしないで聞いて下さい、實はね、私の內の部屋が二間ばかり今空いて居るんですの、處が、部屋を空けて置いても、置かなくても、斯うして一軒借りをして居れば、やつぱり月々家賃を拂はなければならないんですよ、前田さん、相談と云ふのはこゝの事です、つまり貴下の今居られる處も素人下宿屋で、普通の下宿屋に居るよりは安いとしても、相當に費用が掛るんでしやうから、どうでせう、恰度今は月變りで極りがいゝから、私の所に御引越になつたら、私達も女ばかりたつた二人でほんとうに淋しいんですよ』

斯う言はれて彼はうつかり『ハアそうですか、ぢや御言葉に甘へて、早速引越して來ませう』と云はうとした、が、併しそうすれば當然文子と結婚せねばならぬことは解りきつて居る。戀し合つた男女が、餘り廣くもない一家に寢起する事は、どんな意味より判斷しても、極めて危險な事である。結婚に對してまだ確乎たる信念を持たない彼は、下宿料の助かる事や文子戀しさの爲めに、甘い口車に乘つてはならない、と卽座に考へ直した。けれども、どうして此の誘惑から逃れやうかと迷はずには居られなかつた。

『そうですね、そう願へれば結構ですけれども、併し……』

『併しも何もないぢやないの、前田さん被入しやいよ、私の所に來て下されば、私達も助かるわ』
文子はもう馴々しく斯うした言葉まで吐くのであつた。
『前田さん本當に被入しやい、女將さんへの義理立や、私達への遠慮なんか入りませんよ』
と母親の語氣は益々鋭い。彼は愈々のつぴきならぬ破目に陷つたやうに思つた、が、兎に角、一時逃れにもせよ、此の場だけでも何んとか言ひ拔けやうと考へたのであつた。
『マアゆつくり考へさして下さい、それからの上で、どうにか定めますから』
『考へる事なんかちつともありはしないわ』
と文子は怨めしげに前田の顏を見たが、彼女の母は流石に餘裕を與へて呉れた。
『では、お考へになつた上で、是非被入しやいね、私達の方はもう定めて居るんですから』
思ひも寄らぬ相談から漸く逃れた彼は、直覺的に文子との關係が深みに陷つて行きつゝあるを知つた。これを其のまゝ放任して置けば、文子とは厭でも結婚せねばならぬ事になる。文子との結婚が厭なのではない靜子のことを思はぬでもないが、兎に角、彼は結婚と云ふ固定的な桎梏が嫌なのであつた。殊に彼れ自身の意志が、未だはつきりとさう云ふ方向に向つて居なかつた爲めに、强制的な態度を見せつけられると、却つて其の力に屈從することの男らしからぬのを感ぜずには居られなかつた。靜子との養子問題にせよ、靜子自身に對しては、第一印象において餘り好い感じを持たなかつたけれども、決して全然足蹴にしやうとする程の惡い感情を持つて居るのではない。叔父と兄との威壓的な態度がなければ、彼は夙に靜子との緣組みに承諾を與へたかも知れぬ。而も今こゝに差迫つた文子との事柄を考へると、彼は何が何やら薩張りわからなくなつて、たゞ無暗に頭がふら〱するのであつた。

就職の事も重大な問題で、何とかして早く決着をつけたい、養子の問題も出來るだけ早く解決したい、がこの方は唯彼が確答を與へない爲めで、これで煩悶するのは自業自得であるから、きつぱり結婚するならする、しないならしないと云へば、それで解決するのだ。けれども彼は、彼の叔父の強壓的な態度に對する反感と、彼自身の結婚に對する信念の不確定とから、快く承諾する氣にはなれないのだ。

ところが最も差迫つた問題が、今や文子との間に現はれて來たのである。之にはどうする事も出來なかつた。それは文子に對しての愛は持つて居ながら、扨て結婚と云ふ段になると、どうも心が進まない。彼は何故に結婚と云ふことを厭がるのか、それは彼自身にも好く解らなかつた、唯ぼんやりともう少し氣樂な獨身生活を享樂したかつたのである。イヤそれ丈けではない、結婚すれば種々面倒な事が家庭にも世間にも出來る、それが寧ろ結婚を厭がる根本的な原因であるかも知れない。

それにしても、文子との問題が此處まで進んで來たのは、全く意外であつた。下宿屋に歸つて、部屋の床の中に這入つて、扨て眠らうとしても、何だか大きな力が頭の上に置かれて居るやうな氣がして、容易に眠られなかつた。その上、その夜は殊に蒸し暑く、明け放した窓からも、少しの風さへ通はなかつた。で眠られないまゝに、彼は久しぶりに上町に居る友人を訪ねる氣になつて、夜更にふらりと外へ出た。青白い月光が並木を滴るやうに照して居る。街はまだ賑かだつた。彼は惱ましい心を抱いて、どうかしてこの苦惱から逃れる手段はないかと案じながら、賑かな立場馬通りを靜かに歩いて行つた。そして訪ねた友人は不在であつたので、其のまゝ遲くなつて下宿に歸つて來た。

翌る朝、眼が醒めた時は餘程遲かつた。宿屋の息子達は既に勤め先へ出て行つた後で、家の中は墓場のやうに靜かだつた。すると間もなく文子が來て、座るか座らないか内に慌しく尋ねた。

『前田さん、昨日の話はどう定めまして……』

『さあ、考へて見たんですがね、もう少しとつくりと考へさして下さい』

彼は態と落付いた振りをして斯う答ねたが、文子は極めて無遠慮に、

『若し貴下が來られないなら、私は勝手に貴下のお荷物を運ぶわ、そして女將さんにはお母さんから直接に話して貰ふわ、それでいゝでせう』と言つた。

『そんな無茶な事をしては困ります、まあ二三日待つて下さい、その中に返事をしますから』

『きつと二三日中に御返事して下さるの……』

『ゐゝ、屹度します』

彼女は勝ち誇つたやうに片頬に微笑を湛へながら、『きつとね』と更らに念をおして、蓮葉女の足どりも荒荒しく歸つて行つた。彼は文子の歸つた後で靜かにまた此の問題に就いて考へた。この調子ではどうしても彼女の家に引越さねばならぬかも知れぬ、困つた事になつた。と思つた刹那、不意に彼の頭の中に宛から電光のやうに斯んなことが閃めいた。

『かうしては居られない、萬難を排しでも此の場をば逃れねばならない、遁走だ〳〵、雲隱れより他に手段はない、就職口の決定しないのを幸ひ、暫らく此の地を去らう、そうすれば、文子の家に引越さなくてもいいし、自然文子との問題も解決されるに違ひない』

斯う思ふと、彼は直ぐこの企畫を實現する事に決心した、そして宿屋の女將に、

『小母さん、誠に急に濟みませんが、急用で歸鄕せねばならなくなつたものですから、今夜立たうと思ふんです、勘定をしますから書付を……』

『あらマア、何うしたんでせう、餘り出し拔けぢやありませんか……』

と流石の女將も面喰つたが、斯うと決心した彼の心は意外に堅かつたので、彼はそんな事にモハヤ遠慮して居らず、書付を受取つてサッサと勘定を濟ませた。

(四)

前田は愈々遁走の第一步を踏み出した。總ての煩悶が一掃されて氣が晴々となつた。

『今夜の何時の汽車でお立ちですか』と女將が訊いた。

『九時にしやうと思つて居るんです、あの列車が一番空いて居ますから……』

彼は手荷物を片付けて、ワイシャツの胸を廣げ、服裝を整ねた上、さて何處へ行かうかと考へた、が、落付いて居心地の好さそうな所が中々思ひあたらない。兎に角福岡まで切符を買つて、全べては汽車の中でゆつくり考ねやう、刹那〳〵に思ひ浮べたことが、案外面白い結果を得られるかも知れないと思つた。夢のやうな淡い空想が彼の心をそは〳〵させる。日の暮れるのが待遠しかつた。

やがて城山に夕日が沈んで、家々に電燈がついた頃、文子がきりつとした黑目がちの瞳を見開いて、ニコ〳〵しながら彼の所にやつて來た。梯子を登る足音を聞いて前田は上り口まで迎ひに行つた。

『今日の暑さといつたらありはしないわ、私、上町まで行つたら疲れちまつたの』

と文子は相變らず蓮葉な調子にいつて、部屋に入るや否や、何時も來る時の樣子とは打つて變つて綺麗に片付けられて居るのに、顰ち不審の眉を顰め、

『前田さんどうしたの此の樣子は……』

『父から急な手紙が來て、お前がまだ就職して居ないなら、お苦勞ではあるが、父の代りに熊本まで行つて

呉れ、と言つて來たものですから、余り性急ですが、今夜九時の汽車で立たうと思つて居るんです、併し四五日すると歸つて來ます、そう太した用事でもないんですから……』

彼は好い加減に誤魔化したが、蓮葉とは言ひながら、まだあどけない此の娘に虚言を云ふのが、何だか空恐ろしくも感せられた。文子は多少不服らしく見ねたが、それでも納得して元氣よく云つた。

『今夜ですの、随分出し拔けなのね、ぢや私も武驛までお見送りしますわ』

『いゝですよ文子さん、見送りなどしなくても……』

『そう、つまらないのね』

其の晩、前田は文子の家に晩餐に呼ばれた。彼はその時心の中で、これが最後の別れであることを思ふと今更ながら强い愛惜を覺へずには居られなかつた。

『無邪氣な文子よ、お前は何も知らないのだ。自分は今からお前の幸福を奪ひ取らうとして居る。否、お前の幸福だけでなく、自分自身の幸福さへも放擲しやうとして居るんだ。數時間の後、自分達の運命からは華かな幸福が奪ひ去られるのだ。お前はそれを知らないのだ、唯だ可愛い小鳥のやうに、愛の泉に浸つて、幸福の美酒に醉つて居るのだ。併し文子よ、自分を怨んで呉れるな。自分はお前を永遠に愛する、生命の泉が枯れつくすまで愛する。けれ共、自分はお前の美しい身體に傷を付けたくない。また自分の光榮ある若い時を結婚と云ふ事によりて臺なしにしたくない。お前はいつまでも〳〵處女で居てくれ』

彼はそんな事を考へて、不可解な自分の心に申譯して居るのであつた。そして何となく寂しい冷めたい泪が、静かに心臟を浸して行くのを覺へた。

やがて彼は、文子や彼女の母や宿屋の女將達に送られて、新集院町の家を出た。そして何ものをも踏み切

つて行かねばならないやうに武驛にと眞直に向つた。冷たい夜の空氣が亢奮して居る彼の頰を心地よく撫でた。彼の心は云ひ知れない淋しさに泣いた。

チリン〱と發車の警鈴が鳴り、軈て汽笛と共に汽車はゴトン〱と音して動き出した。

『さようなら……』

『左樣なら……』

二人は固く手を握つた。

『早く御歸りなさい』

手を離す時、文子は聲を顫はして咽ぶやうに云つた。プラットホームの柱が一本〱後へ駈けて行く。淋しく悄然と見送つて居る文子の姿や彼女の母や女將やの姿が涙の眼に朧ろに映る。

『華かな都よ……樂しかつた懷かしい都よ……左樣なら……』

彼は斯う心に呟いて、もう外の方を見た。涙はハラ〱と窓枠の上に濡れ落ちた。

次第に勢ひのついた汽車は、その車室の中に氣の拔けたやうになつて窓側に凭されて居る彼を、北へ〱と運んで行く。彼は何時までも〱、町に點した燈火が見へなくなつてからも、うす暗い懷かしい地の空を汽車の窓から凝視して居た。そして彼は其の時、殆んど何にも考ねて居なかつた。別れた文子のことも、就職のことも、またこれから後の行先のことも……。（完）

一三、一、六稿

研究會の旨趣目的

滿洲社會事業研究會は其の名稱の如く研究を主とする間接機關でありますが研究と共にその研究の結果を發表し講演會その他の集會をも催ふし宣傳、鼓吹、報道、論評と相待つて實行促進に努力しますから直接に自ら實行しないでも漸次實行を促すことになります場合に依り又事業の性質によりては本會自ら實行するやうな事があるかも知れませんが本來の使命は間接的に助長、發達、進歩を計り社會問題に對する正しい理解力を一般に普及したいのであります夫れから本會は會員組織でありまして會員を別つて賛助員及び普通會員とし役員は會長一名、副會長二名、幹事長一名竝に幹事若干名で外に顧問、相談役及び評議員若干名を置くことに成つて居ます評議員は賛助員の中より選擧し其の任期は二年です評議員會は會長において必要と認めたるとき又は評議員五名以上の請求ありたるとき開くのです評議員會は今日までに既に九回開きました本會の經費は會費及び寄附金を以て之れに充て會費は賛助員毎月貳圓、普通會員同上壹圓です追つて沿線重要地に支部を設けます。

研究會の組織綱領

毎月一回發行

定價表

壹部金六拾錢、特別號金七拾錢

冊數	定價	郵稅
三箇月分	壹圓九拾錢	五錢
半箇年分	參圓八拾錢	郵稅共
一箇年分	七圓五拾錢	郵稅共

▲半年分及壹年分には特別號を含む▲誌代は總て前金拂の事▲郵劵代用は一割增

廣告料

等級	半頁	一頁
特等	四拾圓	八拾圓
一等	貳拾五圓	五拾圓
二等	拾五圓	參拾圓
三等	拾圓	貳拾圓

●三回以上は割引可仕候●年極めは特別に御相談可致候

●〆切りは前月二十日限り

大正十三年二月一日發行

發行人　山田武吉

編輯人　大內四郎

印刷人　太田信三

印刷所　小林又七支店

大連市大山通

發行所（電話五四二六番）

滿洲社會事業研究會

大連市霧島町五十六號地

振替口座大連一二三九番

輸出入、倉庫、土木、建築、保險及諸代理

大連市山縣通一六三

FC

福昌公司

電話代表番號　七一七一番

振替貯金口座大連一〇六〇番

出張所

大阪、神戸、青島、營口、鞍山、奉天、撫順、開原、錦州、其他

倉庫部

一般倉庫業務取扱

大連市摩耶町十一番地
電話六〇六三番

保險

大阪海上火災、日本共立火災、豐國火災ゼノースプリチツシユ、エンド、マーカンタイル各保險會社代理店